



高文連

第21号

山口県高等学校文化連盟

高文連

第 21 号

も く じ

ごあいさつ	1
山口県高等学校文化連盟〈各部門の報告〉	2
第31回山口県高等学校総合文化祭の記録	
総合開会式	15
[音楽関係 4 部門]	
器楽・管弦楽部門	19
合唱部門	20
吹奏楽部門	21
マーチングバンド・バトントワリング部門	22
日本音楽・吟詠部門	23
展示 3 部門（美術・工芸、書道、写真）	24
囲碁部門	29
演劇部門	30
放送部門	31
将棋部門	32
文芸部門	33
第33回全国高等学校総合文化祭の記録	34
器楽・管弦楽部門	35
吹奏楽部門	36
マーチングバンド・バトントワリング部門	37
日本音楽部門	38
美術・工芸部門	39
書道部門	40
写真部門	41
囲碁部門	42
放送部門	43
将棋部門	44
文芸部門	45
自主事業	46

参考資料

平成21年度山口県高等学校文化連盟〈事業報告・会計決算書〉	52
平成22年度山口県高等学校文化連盟〈事業計画・会計予算書〉	54
山口県高等学校文化連盟規約・諸規定・表彰規程（会計、事務局、旅費支給基準、 調整基金細則）	56
平成21・22年度山口県高等学校文化連盟役員一覧	61
全国高文連の歌	63

ごあいさつ



山口県高等学校文化連盟

会長 八幡 フミエ

高校生の芸術・文化の祭典である第31回山口県高等学校総合文化祭は、「青春創造！！我らがつくる文化維新」のテーマのもと、平成21年6月18日、萩市民館において開催された総合開会式で幕を開けました。県内各地において、各部門の発表大会が多くの高校生や地域の方々の参加を得て盛大に催され、素晴らしい成果をあげることができました。

また、三重県で開催された第33回全国高等学校総合文化祭には、本県から延べ23校、133名が参加しました。三重県の高校生の温かい歓迎と高校生が主体となった運営が行われる中、本県の参加者は日頃の精進によって培われた力を各部門で遺憾なく発揮してくれました。囲碁部門団体戦においては、山口県チーム（男子2名：山口中央高等学校、下関西高等学校、女子1名：周防大島高等学校）が二年連続優勝を果たし、文部科学大臣賞を受賞するという快挙を成し遂げました。また、将棋部門女子団体戦では防府高等学校が3位入賞、放送の朗読部門では、山口高等学校の木村友香理さんが優秀賞を受賞するなど、昨年を引き続き本県の文化活動のレベルの高さを全国に示してくれたことを大変嬉しく思っております。

その他、山口県高等学校文化連盟では高校生が優れた文化や芸術に触れあう機会を作り、感性を高め育むことを目的に、自主文化事業を企画しております。今年度は音楽や演劇など8公演を県内各校で開催し、好評のうちに終了することができました。

これらの県内外で繰り広げられた大会や公演等に参加した感性豊かな高校生にとって、創造・感動・喜び、そして交流の輪の広がりなど、青春時代のかけがえのない財産が得られたものと思います。

平成18年に「国民文化祭やまぐち」が開催されたのを契機に、県文化芸術振興条例が制定され、本県では文化芸術振興の気運が高まっています。とりわけ次代を担う若い生徒たちへの期待は大きく、高校生の芸術文化活動を支える組織として、県高文連の果たす役割には大きいものがあり、今後ますますの躍進が期待されています。昨年度から、総合開会式や各部門の大会において、活動の幅を広げた様々な取り組みを行い、山口県中学校文化連盟との連携など、新たな試みも進めております。今後ともこれらの取り組みをさらに深め、高文連のさらなる充実に向けていきたいと考えておりますので、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

終わりに、この一年間、終始温かいご指導を賜りました県教育委員会をはじめ、県高文連の諸活動にご支援・ご協力をいただきました関係各位に心から感謝し、厚くお礼申し上げます、発刊のごあいさつといたします。

山口県高等学校文化連盟〈各部門の報告〉

器楽・管弦楽部門

理事長 飯田 幸生
(下関南高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部門では今年度、次のような事業を行いました。

1. 平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式において慶祝演奏として合唱部門との合同演奏
 - * 6月18日(木)
 - * 曲目「大地讃頌」
「ハレルヤ・コーラス」
「翼をください」
 - * 指揮/有富 美子
 - * 参加出演/器楽・管弦楽部門 75名
2. 平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会
 - * 6月19日(金)、20日(土)
 - * 参加各校による弦楽・ギター・マンドリン・管弦楽の演奏
 - * 参加出演/7校 263名
3. 第33回全国総合文化祭
 - * 7月30日(木)・7月31日(金)
 - * 三重県桑名市民会館
 - * 山口県立防府高等学校が県代表として参加
 - * チャイコフスキー作曲 弦楽のためのセレナード第4楽章他を演奏
4. 平成21年度山口県高等学校文化連盟器楽・管弦楽部会
 - * 2010年1月18日(月)
 - 下関南高等学校会議室
部会長以下出席者8名
 - * 第29回器楽・管弦楽スプリングコンサート(柳井大会)、県総文全総文、高文連表彰、役員改選などについて協議
5. 第29回器楽・管弦楽スプリングコンサート
 - * 平成22年3月26日(金) サンビーム柳井
 - * 参加7校によるギター・マンドリン、管弦楽などの演奏

今年度の全国総合文化祭三重大会では、本県代表の防府高等学校が素晴らしい演奏を披露いたしました。本県の器楽・管弦楽部門のレベルは全国的にみても、非常に高いものだと思います。次年度以降もますます、発展していくことを確信しています。

第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式



合唱部門

理事長 田中 睦
(野田学園高等学校教諭)

山口県高等学校文化連盟、合唱部門に関して行われた今年度の行事を報告いたします。

1. 山口県高等学校合唱講習会（開幕式に備えての講習会）

- ・平成21年5月30日（土）
- ・講師／有川サチ子
(宮崎学園高等学校教諭)
- ・内容／発声と曲作り
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”
- ・場所／山口県教育会館ホール
- ・参加者／7校 130名

今年度は、各種コンクールで輝かしい実績を残されている宮崎学園高等学校合唱団顧問の有川サチ子先生をお招きした。午前午後ともに、曲のレッスンを通じてご指導頂いた。有川先生の温かで熱心な指導を通じて、毎日の練習の中で決して妥協せず、当たり前のことをいかに己に徹底するかが大切であることを生徒は痛感し、充実した講習会となった。

2. 平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭開幕式典において慶祝演奏

- ・6月18日（木）
- ・山口県高等学校管弦楽団との合同演奏
- ・曲目／“オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」”
“カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」”

山口県高等学校合唱団／8校 147名
今年度は、昨年と同様、オラトリオ《メサイア》より「ハレルヤ・コーラス」、カンタータ《土の歌》より「大地讃頌」を披露した。日ごろ小人数で活動している生徒達にとって、この大合唱は貴重な経験となったようである。合唱部員数が年々減少していることから、男声への負担が懸念されたが、のびのびとした声で演奏していた。最後に会場の人と一緒に歌った「翼を下さい」ではホールの熱気が最高潮に達し、感動のうちに幕を閉じた。

3. 平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

- ・6月19日（金）、20日（土）
- ・萩市民館
- ・合唱部門出演者／6校 153名

4. 第28回全国高等学校総合文化祭

- ・8月2日（日）
- ・三重県文化会館大ホール
- ・山口県代表／出場せず

5. 平成21年度山口県高等学校文化連盟合唱部会及び研修会

- ・12月3日（木）
- ・野田学園高等学校会議室
- ・出席者／部会長以下8名
- ・議題／県総文、全総文、高文連表彰などについて



吹奏楽部門

理事長 志道博資

(小野田高等学校教諭)



平成21年度山口県高等学校文化連盟吹奏楽部門の活動状況を報告いたします。

1. 県総文総合開会式

長北地区引き受け、萩高等学校主管で、平成21年6月18日(木)萩市民館において盛大に開催されました。吹奏楽部門は長北地区高等学校合同吹奏楽団を編成し、大津高等学校の檜原 弘先生の指揮で慶祝演奏に参加しました。

演奏曲は『民衆を導く自由の女神』でした。

2. 県総文音楽4部門発表会・連合音楽会

総合開会式の翌日から2日間、萩市民館での開催でした。19日(金)、20日(土)の両日ともに26校が参加しました。吹奏楽部門の参加生徒数は1,841名で、どの学校の生徒も情感溢れる素晴らしい演奏を披露しました。

3. 全総文三重大会

全総文三重大会の吹奏楽部門は7月30日(木)と31日(金)の2日間、三重県津市の三重県文化会館大ホールにおいて開催されました。本県代表として熊毛南高等学校吹奏楽部(梅本純子先生指揮)が出場しました。少人数の編成による演奏でしたが、他の学校に引けを取らない洗練された演奏と演出で、多くの喝采と高い評価を得ました。

4. 高文連吹奏楽部会総会

本年度吹奏楽部会総会を12月1日(火)小野田高校で開催しました。多くの吹奏楽部指導教員が各地から集まり、総会を開催いたしました。(不参加者は委任状提出)来年度全総文参加校推薦や今後の事業展開等について、忌憚なく意見交換を行いました。

5. 高文連吹奏楽部会研修会

今年度はモデルバンドを使って「楽曲アナリーゼとその実際の指導」という内容で研修を実施いたしました。単なる意見交換だけで終わることなく、実際の指導を取り入れた研修にしたことで、かなりの緊張感も伴って有意義なものになりました。また、日をあらためて近畿大学吹奏楽部の演奏会を視察しましたが、今後、生徒たちを指導する上での指標となる素晴らしい演奏が視聴できました。

マーチングバンド・バトントワリング部門

理事長 縄田道孝
(山口県鴻城高等学校教諭)

平成21年度山口県高等学校文化連盟マーチングバンド・バトントワリング部門の活動状況を報告いたします。

1. 第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式

平成21年6月18日(木) テーマ「青春創造!! 我らがつくる文化維新」

萩市民館にて開催されました。慶祝演奏では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部によりステージドリルが披露されました。

曲目『ムーアサイドマーチ』

2. 第31回山口県高等学校総合文化祭音楽4部門発表会

総合開会式の翌日、19日(金)・20日(土)の2日間、同じく萩市民館にて開催されました。本部門は、19日(金)に誠英高等学校・

慶進高等学校の2校が参加しました。

誠英高等学校(20名) Let's Enjoy!

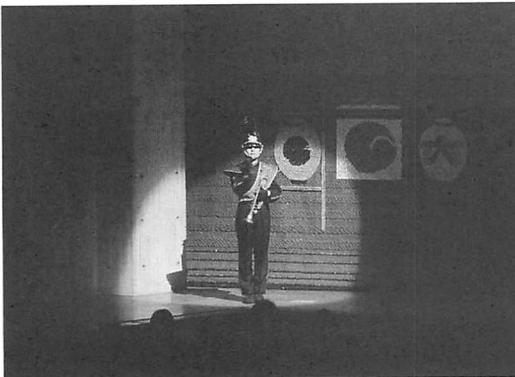
慶進高等学校(24名) 座頭市

3. 第33回全国高等学校総合文化祭・三重大会

平成21年7月29日(水)伊勢市街地にてパレード、7月31日(金)三重県営サンアリーナにてマーチングバンド・バトントワリング部門発表会が開催され、山口県代表として慶進高等学校・誠英高等学校のバトン合同チームが参加しました。

4. 部門研修

平成21年度 マーチングバンド講習会 3月27日(土)山陽小野田市立竜王中学校にて(9:00~17:00)山口県吹奏楽連盟と合同主催で実施。



日本音楽部門

理事長 好川 眞知子
(下関南高等学校教諭)

平成21年度の活動報告は6月の発表大会をメインに報告させていただきます。

1. 第31回山口県高等学校総合文化祭 総合開会式 慶祝演奏

6月18日の萩市民館における慶祝演奏は会場の都合により今年度は辞退することとなりました。来年度に期待してください。

2. 第31回山口県高等学校総合文化祭 日本音楽・吟詠部門発表大会

初夏の風薫る6月20日(土)、山口県立防府高等学校の主管で、防府市公会堂の大ホールにて開催されました。箏曲12校、和太鼓3校、長唄三味線1校、能楽1校、計17校、140名の生徒が日頃の活動の成果を披露しました。若者の日本音楽離れが危惧されるなかで、昨年度より40名多い生徒が、皆誇らしく箏や三味線、太鼓や能楽に興じていたのは素晴らしいことです。防府高から2名、岩国高からは1名の男子生徒が箏を演奏していたのも特筆すべきことです。元来、箏は女性のもものと思われがちですが、男子生徒が既成の枠にとらわれず箏をエンジョイしている姿に勇気づけられました。



また、楽曲も「三段の調べ」のような伝統的な作品から、「エルフ」や「となりのトトロ」のような現代的なもの、身近で親しみやすいメロディーまで幅広く各校それぞれに自由な想いで選曲していました。

和太鼓も1校増え、太鼓のリズムは若者のエネルギーとパワーにあふれ、長唄三味線の「粹」、能楽は「幽玄」と多様性のある舞台でした。

日本の伝統音楽の枠を越え、伝統音楽も音楽の一つとして受け入れ、自分たちの感覚と感性で音楽に向き合うという姿勢を強く感じました。こういう若者が今増えてきているように感じます。

3. 第33回全国高等学校総合文化祭 三重大会

7月の豪雨の名残もいまだ強烈な8月1日(土)～2日(日)、今年度は三重県の鈴鹿市民会館で開催されました。山口県からの出場は見送られましたが、理事長として、発表大会を「視察」して参りました。詳細は第33回全国高総文祭の記録、日本音楽部門をお読みください。



美術・工芸部門

理事長 宮崎龍次
(下関商業高等学校教諭)

平成21年度美術・工芸部門の主な活動について報告いたします。

1. 県高等学校総合文化祭総合開会式慶祝展示
萩市民館第一会議室にて慶祝展示を行いました。長北地区各校から作品を出品していたが、総合開会式に華をそえました。
2. 全国高等学校総合文化祭〈三重大会〉

作品展示は7月29日から8月2日まで、三重県立美術館で行われました。全国から391点の出品がありました。いずれもレベルの高い作品で見ごたえのある展示となりました。その中であって、本県から出品され平面作品5点、立体作品1点は、それぞれの個性の光を十分放っていたように思います。

教育課程が改変され、近々実施されますが、その中で絵画分野に「マンガ」と「イラストレーション」が加わります。部活動においても、数年前から先行してこういう傾向の作風が見られるようになりましたが、今年はレベルも高く、すぐにもプロとして活躍できそうな技術とアイデアを持つ作品もありました。イラストレーションやマンガの指導も我々指導者側が勉強する必要性に迫られていると感じました。

さて、諸行事ですが、開会式や講演会は、展示会場とは別の、三重県総合文化センターで行われました。講演会は安井賞画家の八島正明氏が、自らの制作の原点に立ち返り、半生を振り返る形で行われました。良い作品とは描かれていないものを想像させる作品だというお言葉には、深く感銘を受けました。

講評会では八島先生の目に適った作品を、都道府県関係なくピックアップされましたが、本県からは、山口高校の大堀さんと豊浦高校の河村さんの作品が選ばれ、講評されま

した。大堀さんには大きな期待を込めて、今後のアドバイスをなさいました。河村さんには視点の面白さをお褒めになり、激励の言葉をかけておられました。

交流会は班別に会場を分けて、それぞれの持ち寄った各県の品や個人的な品を組み合わせ、アートボックスを作るというワークショップでした。三重県からは特産の真珠と螺鈿の材料にもなりそうな鮑の殻が提供され、生徒たちは楽しく語らいながら、そこでも個性的な作品を仕上げていました。

秋篠宮ご一家が、今年もこの交流会にあわせてご来場下さり、作品やワークショップの様子をご高覧賜りました。

3. 県総合文化祭展示部門

別欄に掲載していますのでそちらをご覧ください。

4. 美術・工芸部連絡協議会

今年の連絡協議会は、10月14日に下関商業高等学校で行いました。場所が下関ということも影響してか、やや少ない参加でしたが、美術専門でない部顧問も参加され、充実した協議会でした。下関中等教育学校の正田先生に、研究発表をしていただきました。



書道部門

理事長 梶山美智子
(長府高等学校教諭)

平成21年度山口県高文連書道部門の主な活動について報告いたします。

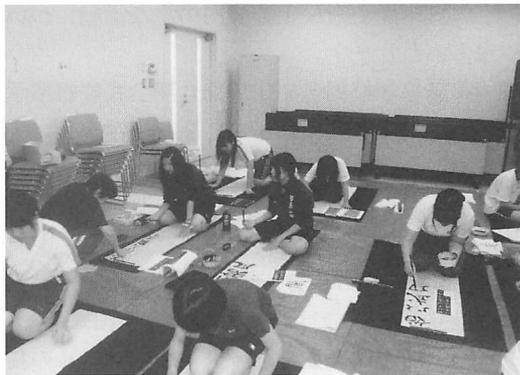
1. 山口県高校総合文化祭総合開会式

今年度の慶祝展示は、大津、萩商工、萩光塩の3校の生徒による臨書作品と、書道部門の活動の一つである生徒研修会で仕上げた共同作品の『蘭亭序』を萩市民館入り口の壁に展示しました。入り口ということで、多くの方々に鑑賞していただくことができました。少ないながらも額装だけでなく、軸や屏風もあり華やかさを添えることができたのではないかと思います。

2. 第11回高文連書道部会生徒研修会

7月11日(土)から1泊2日で、山口県セミナーパークを研修会場として、一字大書創作、共同作品『道』(エグザイルのうた)の制作、県総合文化祭出品作品の練習に取り組みました。生徒31名、顧問10名の参加でした。

今年度は、県総合文化祭の会期が早まったことに合わせて生徒研修会の日程も早めました。期末考査後ということで、それぞれの学校での準備はあまりできませんでしたが、その分、生徒達は当日の一つ一つの課題・練習に集中して取り組んでいたように思います。県総文に出品する作品の鑑賞会では、他の学校の生徒の作品を見ながら、先生方に指導していただき、大変勉強になったことと思います。この研修会で受けた多くの刺激を活力に変え、それぞれの学校での部活動がますます活発となることを期待します。



3. 全国高等学校総合文化祭〈三重大会〉

7月29日(水)から5日間、三重県文化会館ギャラリーに全国から308点の作品が展示されていました。高校の教科書に出てくるような有名な古典は、全臨した、制作時間が何時間もかかるような大作が多く、また、仮名の料紙だけでなく、赤やピンク、薄紫、黄、黄緑などの紙を使った漢字や漢字仮名交じりの作品も多く見られ、大変若々しく明るい会場となっていました。

山口県からは、岩国商業、山口、下関中等教育、下関商業の4校が代表として行書や楷書の作品を出品しました。それぞれの古典の特徴を忠実に表現した堂々とした作品でしたが、残念ながら入賞は逃しました。

交流会では、伊勢型紙と書とを調和させた色紙作りを行いました。(伊勢型紙は、鈴鹿市の伝統産業の一つで、着物などの型染めに用いる型紙の一種)6種類の原画から選んで色紙に貼り付け、あらかじめ考えていた言葉を書き入れ、押印して完成後、色紙をそれぞれ持って記念撮影をして終了しました。

生徒にとって、全国の生徒と触れあい、作品を鑑賞するという事は、大変貴重な経験となったようです。作品のレベルの高さに圧倒されたようですが、そのことにより、今回の出品で終わることなく、生涯書道と今まで以上の努力で向き合う人もあるでしょうし、その努力の大切さを他の場面で生かしていけることを期待できる体験になったことと思います。



写真部門

理事長 眞崎 久
(光高等学校教諭)

平成21年度の山口県高文連写真部門の活動状況について報告致します。

1. 平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式での慶祝展示

6月18日(木)～20日(土)、「萩市民館」において総合開会式および発表会が開催されました。写真部門では例年この期間中、前年度の県総文展示部門の選考にて優秀作品に選ばれたもの(三重大会に出品)を、慶祝展示しています。

今年は次の5点です。

岩国工業高等学校 小迫美由紀「老木」
熊毛北高等学校 今村明日香「鏡の中の親友」
新南陽高等学校 柳田慶一「戯れ」
宇部工業高等学校 末廣大志「猫視」
宇部工業高等学校 澄川竜也「あっかんべえ」
出展にご協力いただいた顧問ならびに生徒の皆さんに感謝いたします。

2. 平成21年度第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)写真部門

7月29日(水)～8月2日(日)までの5日間、三重県伊勢市にある「三重県営総合競技場体育館」にて、全国からの優秀作品が展示されました。山口県の代表作5点(上記の慶祝展示の5点)も、全国240校313点の中にありました。残念ながら、山口県勢は入賞を逃しました。

審査総評には、入賞作品に対して、身近なものを題材にして対象を見つめる素直な視線、瞬間を見逃さない若者らしい反応のよさを感じられたことや、のびのびと作品制作を楽しんでいると審査員のお褒めの言葉がありました。一方、デジタル時代にふさわしい実験的な表現があまり出ていなかったと、苦言も述べられていました。

受賞作品30点の内訳は、カラーデジタル作品が21点、モノクロデジタル作品が1点、カラーフィルム作品が4点、モノクロフィルムが4点です。カラーデジタル作品は昨年度12点なので、デジタル写真がいよいよ主流になるとの印象を受けました。



3. 第31回山口県高等学校総合文化祭展示3部門

9月25日(金)～27日(日)、岩国高校を主管校として、山口県民文化ホールいわくに(シンフォニア岩国)にて行われました。末松照男先生の審査によって優秀作品6点選ばれ、うち5点が来年の宮崎大会への展示候補作となりました。

主管校の岩国高校の先生方、大会役員の方、先生方、補助員の生徒の皆さんに心よりお礼申し上げます。



4. フィルム写真撮影研修会・作品コンテスト

展示3部門の展示会期の最終日に錦帯橋・吉香公園でカラーフィルムによる撮影研修会・作品コンテストを行いました。岩国工業高校、宇部高校、宇部工業高校、西京高校、熊毛北高校、岩国高校、光高校の15名の生徒が参加しました。生徒の出品3点、合計45点の中から、末松照男先生の審査により最優秀1点、優秀5点を選出されました。今後もこのような研修会を開催し、技術向上に役立ちたいと考えています。

囲碁部門

会場：山口県立山口高等学校

理事長 富山 貴之
(山口高等学校教諭)

<平成21年度の主な活動>

1. 全国高校総文囲碁部門

- (1) 期日：8月1日(土)・2日(日)
- (2) 場所：三重県「志摩市阿児アリーナ」
- (3) 出場者と成績：

団体戦

阿武貴裕(山口中央) 河野浩和(下関西)
堀本範子(周防大島) 6勝0敗 全国優勝

個人戦

男子 田中浩貴(萩) 2勝4敗 32位
女子 吉武勝子(防府商業) 3勝3敗 16位

2. 山口県高校総文囲碁大会

→「第31回山口県高総文祭の記録」

3. 第13回中国高等学校囲碁選手権大会

- (1) 期日：12月25日(金)、26日(土)
- (2) 場所：山陽新聞社本社ビル(岡山市)
- (3) 参加者：74名
- (4) 成績：

個人戦

男子 河西 勇(下関西) 4勝1敗 2位
中島 剛(野田学園) 4勝1敗 3位
女子 窄口真実(高森) 3勝2敗 6位

団体戦

男子 山口高等学校 2勝3敗 4位
女子 徳山商工高等学校 2勝1敗 2位

- (5) 全国高校囲碁選抜大会への出場資格

(中国ブロック代表)

河西 勇：男子個人戦(9路盤) 出場
中島 剛：男子個人戦(9路盤) 出場
徳山商工高等学校：女子団体戦 出場

4. 囲碁研修大会

- (1) 期 日：1月31日(日)
- (2) 場 所：山口南総合センター
- (3) 指導碁：日本棋院プロ棋士
山本賢太郎五段

<総括>

ここ数年、山口県の代表メンバーは全国大会で素晴らしい活躍をしている。三重県で行われた全国高総文祭では、団体メンバーが優勝し、全国大会2連覇を達成した。また先日岡山市で行われた中国大会でも、新しい力が台頭し、上位入賞を果たしている。平成22年度も各代表選手が実力を十分発揮してくれることを期待している。



(中国大会 対局風景)

演劇部門

理事長 金 森 健 一
(下関商業高等学校教諭)



8月に開催された4地区での演劇発表会(演劇コンクール地区大会)から、演劇部門は動き始めました。今年も昨年と同じ合計24本のお芝居が上演されました。9月には演劇講習会を実施し、昨年に引き続き南河内万歳一座座長の内藤裕敬さんに御指導をお願いしました。会

場となった下関南高校の体育館には、県内18校の演劇部員95名が集まり、基礎トレーニング、演技・演出の実践に汗を流しました。10月末には、各地区の代表校を集めて宇部地区で県大会を開催しました。12月からは、地区別の行事が行なわれています。周防地区の新人大会、宇部地区の練習発表会、そして下関地区では、17回目となる合同公演が今年も行なわれます。今年の合同公演は、講習会でお世話になった内藤裕敬さんの新作脚本「似世物小屋」を、市内6校の生徒が協力して上演する予定です。

今年も、部員の減少に負けず、部活動予算の削減にも負けず、県内各校の演劇部はがんばっています。この生徒たちのがんばりを、事務局としてもしっかり応援していきたいと考えています。

《平成21年度の主な活動》

1 第31回山口県高等学校総合文化祭開会式

写真展示(岩国総合高等学校 下関商業高等学校 2校の県大会上演の写真展示)

2 地区大会(4地区25校参加)

上演一覧[出場校・上演作品・作者 ◇創作]

- A 周防地区 8月12日(水)周防市市民館
 ・岩国総合 「振り返ることなく、胸をはって」 阿部順
 ・光丘 「父さんといっしょの地中海」 赤間幸人
 ・新南陽 「DEAR SISTER」 小木曾里美
 ・周防大島 「ここにいる証」 立花太郎
 ・岩国 「交換部品～プロローグとエピソードのある一幕」 角田和則
 ・華陵 「辛く厳しいこの世の中では辛い物好きばかりが目立っていますが、わたしは甘いものが大好きです。とどこからいってつらいついて似てますよね。」 雅陵鳳雛原作 津村修司・片岡直史 脚色◇
- B 山防地区 8月23日(日)山口南総合センター
 ・山口中央 「たくらんげ」 石原哲也
 ・山口 「ペンキ屋さん」 酒井一也(キャスト負傷のため上演せず)
 ・西京 「番(つがい)～Y・side～」 時彦向陽

- ・防府西 「修学旅行」 畑澤聖悟
 ・防府商業 「廣作マクベス」 中屋敷法仁
 ・山口県鴻城 「モモ!」 渚太陽◇
- C宇部地区 8月23日(日)宇部市文化会館
 ・宇部 「PERFECT SELECT」 齊藤泰弘
 ・宇部西 「もなか」 塚町幸憲 作 演劇部 潤色
 ・宇部フロンティア大学付属香川 「ツンドレロリネス」 亀田夢◇
 ・サビエル 「今更中2病」 東祐実子
 ・宇部中央 「Heaven's GATE」(東祐実子作『永羅』より) 古田裕希◇
- D 下関地区 8月5日[水]・6日[木] 下関市民会館
 ・梅光女学院 「おとぎの国のアリス シンデレラの国」 緑青達樹 演劇部改変
 ・田部 「トリコロール」 楽静 演劇部潤色
 ・下関中等教育 「探し屋本舗」 川原一恵 作 演劇部潤色◇
 ・下関工業 「ばちもん」 石岡克
 ・長府 「出停記念日」 鳥元要 演劇部潤色
 ・下関西 「トシドンの放課後」 上田美和
 ・下関商業 「銀河旋律」 成井豊
 ・下関南 「出停記念日」 鳥元要 演劇部潤色

E 地区大会に残念ながら参加できなかった加盟校・中村女子高校

3 演劇講習会

期日 9月13日(日)10時～15時
 会場 下関南高等学校 体育館
 講師 内藤裕敬・木村基秀
 (南河内万歳一座)
 参加校 人数 18校95名
 内容 演技・演出法

4 第31回山口県高等学校総合文化祭演劇部門

第28回山口県高等学校演劇大会
 期日 10月24日(土)25日(日)
 会場 宇部市渡辺翁市民会館

5 その他の活動

※宇部地区 練習発表会
 期日 12月26日(土)9:00～12:00
 会場 サビエル高校
 参加校 宇部 宇部中央 サビエル 香川 宇部西

※周防地区 演劇新人大会
 会場 周南市社会文化ホール
 期日 2月6日(土)9:00～17:00
 参加予定校 周防地区6校

※下関地区 第17回下関地区高等学校演劇連盟合同公演
 期日 3月29日(月)
 会場 下関市生涯学習プラザ
 参加校 下関市内6校(36人)
 上演作品 『似世物小屋』 内藤裕敬

放送部門

理事長 小倉 誠 司
(岩国高等学校教諭)

平成21年度山口県高等学校文化連盟放送部門
の主な活動について報告いたします。

1. 第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)

8月1日(土)2日(日)松阪市民文化会館
で行われました。アナウンス部門、朗読部門に
各3名、オーディオビクチャー部門、ビデオメッ
セージ部門に各1校が出場し、朗読部門で山口
高等学校の木村友香理さんが「日曜日の夕刊」
(重松清)の見事な発表で、最高賞である優秀
賞を受賞しました。昨年度の群馬大会における
宇部高等学校のオーディオビクチャー部門、一
昨年度の鳥根大会における徳山高等学校のアナ
ウンス部門に続いての3年連続の快挙です。
(出場者、出場校は下記のとおりです。)

アナウンス部門

徳山高等学校 河井実咲 「勝利への道」
徳山高等学校 戸崎安由美 「未来への道」
宇部高等学校 嶋野寛章 「うしろすがたの
しぐれていくか」

朗読部門

岩国総合高等学校
石橋奈々「おはん」宇野千代
山口高等学校
木村友香理「日曜日の夕刊」重松清
山口高等学校
山本有希子「日曜日の夕刊」重松清

オーディオビクチャー部門

徳山高等学校 優しき勇者「ツネゴン」

ビデオメッセージ部門

山口高等学校 山口といえば・・・ふぐ?

2. 第31回山口県高等学校総合文化祭第16回放 送部大会

11月7日(土)ニューメディアプラザ山口で
行われました。

(結果の詳細は31ページの「第31回山口県高
総文祭の記録」をご覧ください。)

3. 研修会

12月27日(日)岩国高校で、放送インストラ
クターの安田知博さんを講師にお迎えして「読
み」の技術向上の研修会を行いました。別の高
校同士で組になって協力して取材をし、原稿を
まとめ発表をする過程でお互いにより刺激にな
り、県全体のレベルアップのきっかけになりま
した。

3月末には番組制作の研修会を予定していま
す。



将棋部門

理事長 弘中敏之
(徳山高等学校教諭)

将棋部門の創立14年目を迎える今年度は、全国高等学校総合文化祭への女子団体初の参加や、第18回全国高等学校文化連盟将棋新人大会を主管し、画期的な年となりました。徳山高等学校に事務局を置き以下の事業を実施しました。

1. 山口県高等学校総合文化祭 総合開会式の 慶祝展示

下関西高等学校をはじめとする下関地区の高校から、将棋部門の大会の様子を撮影したパネル写真を展示しました。期間は6月18日(木)から20日(土)まで、会場は萩市民館でした。

2. 第31回山口県高等学校総合文化祭 将棋部門大会 兼

第45回全国高等学校将棋選手権大会県予選

徳山高校を主管に、防府市文化福祉会館で開催されました。5月23日(土)は男女別の団体戦、24日(日)は男女別個人戦が行われました。男子団体戦では、7校17チームによる対局の結果、下関西高校が、初めて設けられた女子の部では3校4チームによるリーグ戦の結果、防府高校が見事初優勝を遂げました。個人戦では、男子が10校66名、女子が4校9名で戦われ、宇部高校の鈴山君と藤上さんがそれぞれ優勝を飾りました。

なお、この大会の対局の審判、および指導にあたり、日本将棋連盟山口支部の先生のご協力をいただき、延べ140名余りの選手が集う大盛況の大会となりました。

3. 山口県高等学校文化連盟将棋専門部研修会

徳山高校が主管となり、11月1日(日)に防府市文化福祉会館で行われました。特に今年は山口県での全国大会を控え、その実行委員会の先生方や日本将棋連盟山口支部の方々と研修を行ないました。生徒は、棋力向上と上位大会へ

の出場資格を賭けた対局、およびアマ高段者による解説を聴講しました。参加者は県内10校1・2年生の男子45名、女子11名、計56名の参加がありました。

《研修対局の結果》

○男子

- 1位 川口 貴大 (下関西高校2年)
- 2位 佐藤 文昭 (大島商船1年)
- 3位 村上 和広 (高森高校2年)
- 3位 岩田 和太 (徳山高校2年)
- 5位 河西 勇 (下関西高校2年)
- 5位 村中 隆二 (徳山高校2年)

○女子

- 1位 高橋 亜弥 (防府高校2年)
- 2位 鈴木 里沙 (宇部高校2年)
- 3位 横山 小百合 (防府高校2位)

なお、12月18日(金)～20日(日)に鳥根県大田市で行われた第8回中国地区高等学校将棋選手権大会では本県より男子6名、女子3名が参加しました。女子は高橋さんの準優勝をはじめ安定した好成績を収め、男子も昨年に比べ大きく躍進しました。

4. 第18回全国高等学校文化連盟将棋新人大会

今年度は1月28日(木)から30日(土)にかけて山口市のホテルニュータナカを舞台に、全国47都道府県から男女224名の選手と、約200名の先生方や保護者の方々、そして日本将棋連盟の専門棋士の先生をお迎えして、山口県初の高校生の全国大会を開催しました。主管は当専門部でしたが主催者である全国高等学校文化連盟および山口県高等学校文化連盟またご後援をいただいた関係諸機関や団体にはさまざまな面でお世話になり、成功裡に終えることができました。

文芸専門部

理事長 國嶋 洋治
(徳山商工高等学校教諭)

今年度の文芸部門の活動状況を報告します。

1. 山口県高校総合文化祭総合開会式慶祝展示

文芸部門は、第6回文芸コンクール入賞者が自身の受賞作のイメージを絵画等に描き、額装にしたものを16作品展示しました。あわせて県内各高校の文芸誌及びコンクール作品集を展示しました。

2. 全国高等学校総合文化祭三重大会

7月29日(水)から8月2日(日)の5日間、三重県伊勢市を会場として、全国総文祭文芸部門大会が開催されました。山口県代表として、柳井商工高校3名、萩高校2名の計5名が参加しました。大変有意義な大会でした。

3. 第7回文芸コンクール

今年度の県コンクールには14校96作品107名の応募があり、この中から各部門最優秀4作品、学校特別優秀賞4校、入選12作品を選びました。

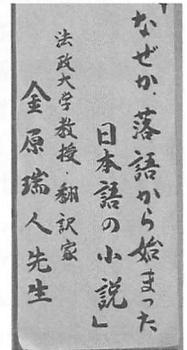
1・2年生のみの応募でしたが(全国総文に推薦のため)力作ぞろいで内容の濃い作品集になったと思います。

来年度開催予定の全国総文(宮崎大会)に2校ならびに中国ブロック大会(鳥根大会)に2校推薦しました

4. 第11回高校生文芸道場中国ブロック大会 (広島大会)



11月15日(日)文芸道場中国ブロック大会が、広島市女学院大学で開催され、全体の出席数も多く、手馴れた感で大会運営をこなしていました。講師の金原先生の講演は盛り上がりが大変ありました。大会にあわせて行われた



作品コンクールには山口県から文芸誌部門で山口高校が最優秀賞、小説部門に山口高校が優秀・入選、柳井商工が入選・詩部門の最優秀は萩高校、柳井商工入選と優秀な成績をあげ、12月に開催される全国文芸道場に萩高校・山口高校が推薦されました。山口県の作品も今後大いに期待できます。

なお来年度は鳥根県松江市での開催となり文芸専門部一同優秀な作品が入賞し全国総合文芸道場に推薦されることを願っております。

第31回 山口県高等学校総合文化祭の記録

総合開会式

会場：萩市民館

主管校 有 富 美 子
(萩高等学校教諭)



第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、第3回山口県総合芸術祭の協賛事業として「青春創造！！我らがつくる文化維新」のテーマのもと、平成21年6月18日（木）に萩市民館で盛大に開催されました。この総合開会式は、例年通り翌日19日（金）からの2日間にわたり開催される音楽4部門発表会との合同開催であり、3日間でのべ2500名余りの生徒が県内から参加しました。今年度は、主管校である萩高校を中心に長北地区の各高等学校が連携を取り合い、協力して大会に臨みました。

式典は、主管校生徒代表、松尾優平さんの開会宣言とともに、長北地区高等学校合同吹奏楽

団が演奏するファンファーレで開幕しました。八幡フミエ山口県高等学校文化連盟会長、藤井俊彦山口県教育委員会教育長のあいさつがあり、続いて、主管校生徒会長、久保田大貴さんが「大きなエネルギーをもって、新しい文化創造の扉を開いて欲しい」とよびかけました。最後に野村興児萩市長によるあたたかい歓迎のことばをいただきました。

次に、山口県高等学校文化連盟より、功績賞、優秀芸術文化賞、テーマ最優秀賞の表彰がありました。「功績賞」は長年各分野でご指導され多大な功績を残された先生が受賞されます。

縄田正規先生（山口県立山口高等学校）
三好五郎先生（元山口県立宇部中央高等学校）
和田道明先生（山口県立光丘高等学校）
柴崎正比古先生（山口県立山口中央高等学校）
新谷勉先生（山口県立長府高等学校）
佃 幸憲先生（山口県立防府商業高等学校）
豊川真利子先生（山口県立山口高等学校）
の7名が受賞されました。

「優秀芸術文化賞」は、第32回全国高等学校総合文化祭群馬大会囲碁部門、団体戦で優勝し、文部科学大臣賞ならびに山口県メダル栄光文化賞に輝いた、阿武貴裕さん（山口県立山口中央高等学校）、堀本範子さん（山口県立周防大島高等学校）、藤本裕樹さん（山口県立下関工業高等学校）の3名と、第32回全国高等学校総合文化祭群馬大会放送部門、オーディオピクチャー部門で部門最高位である、優秀賞に輝いた、山口県立宇部高等学校放送部が受賞されました。また、今年度の高等学校総合文化祭のテ-

マに選ばれた瀬畑敬文さん（山口県立萩高等学校）には「テーマ最優秀賞」が授与されました。続いて、慶祝演奏は、山口県鴻城高等学校吹奏楽部の迫力あるマーチングバンドに始まり長北地区合同吹奏楽団の「民衆を導く自由の女神」、県高等学校合同合唱団及び合同管弦楽団による「ハレルヤ」「大地讃頌」、そして会場の皆さんと「翼を下さい」の大合唱で開会式の幕を閉じました。

なお、進行及びアナウンスは萩高校が担当し、会場には萩商工高校、萩光塩学院高校、奈古高校、萩高校の生徒が参集して有意義な文化交流を体験しました。

また、慶祝展示は、市民館第1会議室およびロビーにおいて、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、演劇、文芸の7部門が行いました。

最後に、この大会を開催するにあたり、関係諸機関、多くの先生方のご尽力を賜り、無事終了できましたことを心よりお礼申し上げます。



山口県高等学校合唱団及び山口県高等学校管弦楽団による演奏



会長あいさつ



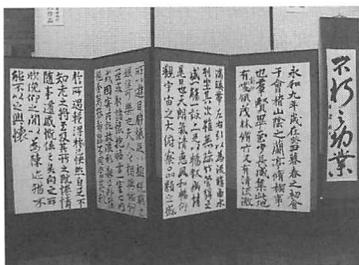
村瀬さやか（萩高校）さんのイラストを基にしたポスター



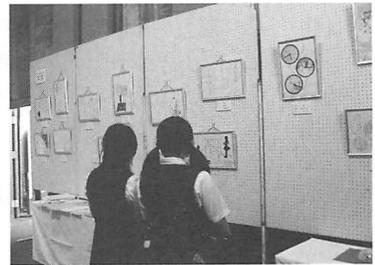
▲慶祝演奏
マーチングバンド：山口県鴻城高等学校吹奏楽部



吹奏楽：長北地区高等学校合同吹奏楽団



▲慶祝展示



◎慶祝演奏

◇〔マーチングバンド〕

『MOORSIDE MARCH』

(ムーアサイドマーチ)

【演奏】山口県鴻城高等学校吹奏楽部
〈指揮〉内田良一(山口県鴻城高等学校)

◇〔吹奏楽〕

『民衆を導く自由の女神』

【演奏】長北地区高等学校合同吹奏楽団

〈指揮〉檜原 弘(大津高等学校)

◇〔合唱、器楽・管弦楽〕

“カンタータ《土の歌》”より

『大地讃頌』

“オラトリオ《メサイア》”より

『ハレルヤ・コーラス』

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

〈指揮〉有富 美子(萩高等学校)

◇〔全員合唱〕“翼をください”

【演奏】山口県高等学校合唱団

山口県高等学校管弦楽団

〈指揮〉有富 美子(萩高等学校)

◇〔放送〕幕間出演及び進行アナウンス

山口県立萩高等学校

◎慶祝演奏出演校

〔マーチングバンド〕

山口県鴻城高等学校

〔長北地区高等学校合同吹奏楽団〕

大津 日置農業 萩商工 奈古 萩光塩学院

長門 萩 各高等学校

〔山口県高等学校合唱団〕

岩国 香川 山口中央 中村女子 野田学園

防府 萩 萩光塩学院 各高等学校

〔山口県高等学校管弦楽団〕

下関南 山口中央 柳井 各高等学校

◎慶祝展示

◇〔美術・工芸〕 長北地区各高等学校

◇〔書 道〕 長北地区各高等学校

◇〔写 真〕 岩国工業 熊毛北 新南陽
宇部工業 . . . 各高等学校

◇〔囲 碁〕 大会風景

◇〔将 棋〕 大会風景

◇〔演 劇〕 岩国総合 下関商業
. 各高等学校

◇〔文 芸〕 柳井商工 萩
. 各高等学校

◎ 山口県高等学校文化連盟表彰者

〔功 績 賞〕

縄田 正規…長年にわたって吹奏楽指導にあたり、大きな実績を残すとともに県総文主管校責任者を務めるなど高文連活動にも貢献された。

三好 五郎…長年にわたって吹奏楽・合唱の指導に携わり、全日本吹奏楽コンクール中国大会にも山口県代表としてたびたび出場するなど、高文連の活動に貢献された。

和田 道明…長年にわたって吹奏楽指導にあたり、大きな実績を残すとともに高文連吹奏楽部門理事長としても尽力された。

柴崎正比古…長年にわたって美術・工芸の指導に携わり、大きな実績を残すとともに、山口県美術・工芸教育の発展に寄与された。また、県高文連の事務局として大きく貢献された。

新谷 勉…長年にわたって美術・工芸の指導に携わり、大きな実績を残すとともに、山口県美術・工芸教育の発展に寄与された。また、県総文主管校責任者を務めるなど高文連活動にも大きく貢献された。

佃 幸憲…平成13年度から平成20年度まで4期8年、写真部門理事長として高文連の活動に尽力された。

豊川眞利子…平成11年から10年間、事務局の会計担当として高文連活動に大きく貢献された。

〔優秀芸術文化賞〕

阿武 貴裕…第32回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)囲碁部門 団体戦優勝

堀本 範子…第32回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)囲碁部門 団体戦優勝

藤本 裕樹…第32回全国高等学校総合文化祭(群馬大会)囲碁部門 団体戦優勝

宇部高校 …第32回全国高等学校総合文化祭

文芸・放送部 (群馬大会)放送部門 オーディオビクチャー部門 優秀賞

〔テーマ最優秀賞〕

瀬畑 敬文(山口県立萩高等学校)

音楽関係 4 部門発表会

器楽・管弦楽部門

会場：萩市民館

理事長 飯田幸生

(下関南高等学校教諭)

平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭の音楽関係4部門発表会は6月19日(金)、20日(土)の2日間にわたり萩市民館において催されました。また、前日18日の総合開会式においては、満員の聴衆のもと、合唱部門との合同で式典の慶祝演奏を行いました。

今年度も去年に引き続き合同オーケストラを編成し、ステージの狭さにも負けず、県下4校の管弦楽部・弦楽部の代表たちが集い、70名を越える編成で演奏できました。演奏曲目は去年に引き続き、ヘンデル作曲のオラトリオ「メサイア」から“ハレルヤ・コーラス”そして佐藤真作曲のカンタータ「土の歌」より“大地讃頌”の2曲を演奏しました。今年も合同練習は当日の午前中のみという厳しい状況の中、萩高等学校の有富先生の躍動感あふれる力強い指揮のもと

で、開幕式典にふさわしく荘重で輝かしい音楽が見事に演奏されました。その演奏は多くの聴衆に深い感銘を与えたことと思います。

さて、翌日の朝から2日間にわたって開催された音楽関係4部門発表会には器楽・管弦楽部門からオーケストラ4校、ギター・マンドリン合奏2校、弦楽合奏1校が参加いたしました。多数の吹奏楽部門の参加校に混じって、その演奏は一服の清涼剤ともいえるすがすがしい演奏でした。各校ともに弦楽器の艶やかで柔らかい音色を備えた立派な演奏で、大会を大いに盛り上げました。

次回の岩国大会ではさらに練習に励み、研鑽を積んだ成果を十分に発揮されることを期待しています。



合唱部門

会場：萩市民館

理事長 田中 睦
(野田学園高等学校教諭)

平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、6月18日(木)「萩市民館」にて、盛大に開催されました。例年のように、器楽・管弦楽部門と合唱部門と合同で慶祝演奏に参加しました。オーケストラとの大合唱(岩国、防府、山口中央、野田、中村女子、萩、萩光塩、香川の8校・計147名)は、ホール一杯に美しく響き渡り、満員の聴衆の方々にも深い感銘を与えたことと思います。毎年、男声が少人数であるためバランス面で心配していましたが、生徒達の熱の入った伸び伸びとした演奏のお陰で、素晴らしい合唱ができました。日頃小人数で演奏活動をしている生徒達は、他校との合同合唱は勿論のこと、オーケストラとの共演はとても貴重な体験になったことと思います。

また、音楽部門4部門の発表は、6月19日

(金)、20日(土)の2日間にわたり、高校生の熱気あふれる演奏が続きました。合唱部門の出演校は、6校(防府、野田、山口中央、萩、香川、慶進)出演者は153名でした。各校よく工夫されたプログラムで、美しく柔らかい歌声が響き渡り、個性あふれる演奏でした。

問題点として、年々合唱部が廃部・休部になり、参加校が減少しています。そのため地域や学校格差が広がっています。生徒数の減少や指導者不足が影響していると思いますが、もっと積極的に一人でも多くの合唱仲間を増やしていきたいでしょう。

来年度は、“シンフォニア岩国”で開催されます。また次回も素晴らしい演奏を期待しています。



吹奏楽部門

会場：萩市民館

理事長 志道博資
(小野田高等学校教諭)

平成21年度第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式は、6月18日(木)萩市民館で開催されました。開幕式典は萩高校の生徒を中心とするファンファーレ隊による、この開会式のために作られたオリジナルファンファーレで華やかに開会いたしました。例年同様に長北地区高等学校合同吹奏楽団が編成され、総合開会式後の慶祝演奏では大津高校の檜原 弘先生の指揮の下、「民衆を導く自由の女神」の演奏で聴衆を魅了しました。今回の合同吹奏楽団の指導と運営にあられた、先生方や関係各位には大変感謝いたしております。

音楽4部門発表会は19日(金)と20日(土)

の2日間の開催でした。吹奏楽部門には52校1,841名の生徒が参加し、編成の大小はありますがどの学校も素晴らしい演奏を披露してくれました。両日とも最後は吹奏楽の伴奏によって、全員で「翼をください」を大合唱して盛会のうちに終了いたしました。

今年度の総合文化祭は会場による制約などの懸念材料もありました。しかし、それらを創意と工夫で乗り越え、この大会の成功にご尽力いただいた、主管校である萩高等学校をはじめとする関係高等学校各位、長北地区の先生方、生徒の皆さん、関係機関各位に、あらためて心よりお礼申し上げます。



マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：萩市民館

理事長 縄田道孝
(山口県鴻城高等学校教諭)

第31回山口県高等学校総合文化祭総合開会式が、平成21年6月18日(木)『青春創造 我らがつくる文化維新』というテーマのもと、山口県立萩高等学校主管で萩市民館にて開催されました。慶祝演奏では、山口県鴻城高等学校吹奏楽部によりステージドリル『ムーアサイドマーチ』が披露されました。会場が手狭なため十分なステージドリルを展開することは出来ませんでしたが、マーチングの素晴らしさ・かっこよさは十分に伝えることが出来たのではないのでしょうか。特にマーチング・バトントワリング

部門は参加校が少ないので、このステージドリルを見てマーチングをやってみたいと思われる学校が出てくることを切に望みます。

翌日の音楽4部門発表会では、本部門は、誠英高等学校・慶進高等学校の2校が参加しました。バトントワリングで、誠英高等学校・慶進高等学校とがそれぞれ演技し、日頃の練習の成果を発表しました。誠英高等学校(20名)演技曲目『Let's Enjoy!』 慶進高等学校(24名)演技曲目『座頭市』を披露しました。



日本音楽・吟詠部門

会場：防府市公会堂

主管校 原田 江里子
(防府高等学校教諭)

第31回山口県高等学校総合文化祭の日本音楽・吟詠部門発表大会が6月20日（土）、防府市公会堂にて開催されました。

学校の統廃合等により日本音楽の部活動が減ってゆく中、久しぶりに参加された学校もお迎えし、県下17校140名の高校生が集いました。

箏曲を中心とした雅やかな音色、勇壮な太鼓の響きや凛とした仕舞が披露され、会場から大きな拍手を頂きました。また、合同演奏では当日初めて合わせたにもかかわらず、6校14名の生徒達は見事に昔懐かしい音色を奏でることができたように思います。

閉会式で講師の山崎凱千先生に頂いた御講評をもとに、各校とも来年への新たな目標を確認したことでしょう。

最後に、主管校として防府高校が本大会の運営をお引き受けし、高文連事務局を始め、部門会長・理事長そして日本音楽部会の諸先生方から御協力並びに御指導いただきましたことあらためてお礼申し上げます。



第31回山口県高等学校総合文化祭 日本音楽・吟詠部門発表大会プログラム

	演目	学校名
1	箏曲 光る海	防府高等学校
2	箏曲 三段の調べ	下関短期大学 附属高等学校
3	箏曲 雪景三章	聖光高等学校
4	箏曲 千の風になって	中村女子高等学校
5	太鼓 陶ヶ岳太鼓	山口南総合支援学校
6	箏曲 花筏	萩高等学校
7	箏曲 となりのトトロ いつも何度でも	下関南高等学校
8	仕舞 竹生島、鶴亀、 國栖	誠英高等学校
9	箏曲 ほたる、こきりこ	合同演奏 岩国・柳井・大津・ 聖光・下関短大 附属・防府
10	平家太鼓 源平音頭	早鞆高等学校
11	箏曲 世界に一つだけの花	山口県鴻城高等学校
12	箏曲 三段の調べ	田布施農業高等学校
13	和太鼓 鴻城魂、若葉、息吹、 古武	宇部鴻城高等学校
14	箏曲 妖精（エルフ）	徳山高等学校
15	長唄三味線 二人椀久	高水高等学校
16	箏曲 フォスター名曲集	柳井高等学校
17	箏曲 祭花、虹の舞曲	大津高等学校
18	箏曲 合奏曲みだれ	岩国高等学校

展示3部門

会場：山口県民文化ホールいわくに（シンフォニア岩国）

美術・工芸、書道、写真部門

主管校 平田博英

（岩国高等学校教諭）

「記録」という意味において、内容に多少のズレを感じていますが、高文連の趣旨である生徒の創造活動の向上等に関しては、的を外してはいないと思いますので、個人的な感想に終始してしまうかも知れませんが、思ったことを書いていきます。

実は7年前、前任校で、この展示3部門展の主担当を経験していました。まさか二度目があるなんて全く考えていなかったのですが、岩柳地区の現状を見る限りは仕方の無い面も多く、渋々の引き受けでした。同じ悩みを持っている他部門もあると思いますが、主管校・主担当として部門展を運営できる人材の不足は大きな問題点です。学校現場での文化活動の健全な発展を目的に高文連の事業が進められていますが、特に運動部と比較するとよく見えてくる文化部の問題点が、こういった事業を行う上での足枷になっているように思えます。

二度目といっても七年間のブランクは大きく、記憶力が衰えている現在に至っては、思い出すと言うより、前年度の資料を取り出してはそれを踏襲するといった作業に追われていました。一週間後に文化祭を控えていた前回のことを考えれば、精神的な余裕だけは少しばかりあったような気がします。

さて、恒例の行事となっています、書道部門の県内生徒による共同作品や、写真部門の撮影研修会が、毎年この3部門展に花を添えていることは周知のとおりです。前日も、岩柳地区で行う意味を考える上で、この3部門展を契機に「地区の部員で何かを」と気持ちだけは前向きだったのですが、美術・工芸部門では、特に「共同」という意味において、これといった取り組みができませんでした。

美術・工芸部門では、各校の出品五点枠により、出品を断念した部員もいます。会場に足を運んだ際に、正式な出品作品ではないにしろ、

自分の作品が存在することの喜びは大きいと思われまます。少なくともこの展示会の準備運営に携わった岩柳地区の美術部生徒にとって、自分の作品が存在することは大きな意味があると思います。そこで、今展示会では、岩柳地区の美術部共同作品として「驚き盤」を題材にしたアニメーションを制作しました。全国総文祭では映像表現にも出品枠が設けられるようになりましたので、映像作品へ関心を抱いてくれる生徒の励みになってくれれば、取り組んだ意義もいっそう大きなものになったと思います。美術・工芸部門においても、こういった共同制作が引き継がれることを期待します。

ところで今回は、例年より二ヶ月近く早い、九月下旬〔9月25日（金）～9月27日（日）〕の会期となってしまいました。会場となったシンフォニア岩国ですが、元来音楽ホールとして設営された多目的ホールの確保が難しく、それが大きな誤算となり、この大会を目指す多くの高校生に、十分な制作時間を確保できなかったことが悔やまれ、申し訳なく思います。

それでも、美術・工芸部門のスペースとした多目的ホールは、高い天井でゆったりとした空間を提供でき、作品鑑賞の場としては納得のいく会場でした。ただ、展示パネル等、作品展示の必需品といえる備品が無く、岩国総合及び岩国工業高校のパネルをお借りして作品を展示することになりました。関係生徒に女子生徒が多いため、パネルの搬入・搬出等の安全面で問題点も残りました。

書道、写真部門の会場とした企画展示ホールは、展示室としての機能を充分兼ね備え、書道会場は、表彰会場としても厳粛な雰囲気醸成していました。また、慶祝演奏として岩国高校琴部の演奏が、会場を「和」饗宴として、訪れた人を楽しませてくれました。

準備日程を含めると四日間、会場内を駆けず

り回っていたように思いますが、岩柳地区の関係する顧問の先生方や、各部門理事の先生方によって無事部門展を終えることができました。しかし、単に部門展に携わったということではなく、この部門展を通して今後、岩柳地区の美術部、書道部、写真部の顧問が、それぞれ部門の活性化に繋げるようどう意識を持ち取り組んでいくのかを、改めて考えていく契機にしたいと思っています。

美術・工芸部門

総出品点数154点の、レベルの高い作品が集まりました。平面作品、立体作品ともに高水準のものが多く、審査もかなり慎重に行いました。審査員の間でも、生徒の高レベルな技術を採用か、つたない中にも生徒個人の心が反映された物を採用かで、意見が分かれ、最終的には理事長の私の意見を尊重していただきましたが、納得いただけなかった先生もいらっしゃるほど、拮抗し白熱した審査でした。

全国大会を観ても思うのですが、教師は導くべきものであり、教え込むべきではないというのが、私のスタンスですので、ご理解いただくと幸いです。

しかし、賞には数に限りがあり、受賞に値するレベルの高い技術の作品に、賞を授与できなかったのは本当に残念です。今回受賞されなかった生徒諸君にも、顧問の先生方から適切なご指導をいただきますよう、この場を借りてお願いいたします。(理事長 宮崎)

書道部門

昨年に比べ会期が早まったことが少なからず影響したようで、10点以上も少ない、69点の出品になりました。全体的な作品の傾向は、例年とほとんど変わらず、圧倒的に漢字古典の臨書

が多く、仮名、篆刻の作品はありませんでした。

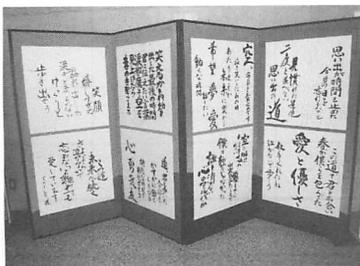
その中から、厳正な審査により、全総文宮崎大会への出品候補作品4点を含む優秀賞11点を選出しました。上位の作品のレベルは接近しており、全国候補作品を選ぶのは大変でした。県内の出品が減少しますと、全国への推薦も少なくなります。1点でも多く全国へ出品してほしいと願っていますので、県内の書道部がますます活性化することを期待しています。

最終日の講評会は、長年高水高校で教鞭をとられた岩見屋先生をお招きし、参加生徒全員の作品を1点ずつ丁寧に、講評をいただきました。様々な視点からの作品の見方は、今後の作品作りの参考になりました。(理事長：相山)

写真部門

10校から出品された総数63点から、デジタル写真を除く作品について、審査員の末松照男先生の審査により、10%の6点が優秀作品と決まりました。そのうち5点が、来年度の平成22年8月1日(日)～5日(木)宮崎市民プラザで行われる「全国高総文祭みやざき2010」に出品される候補作品に決まりました。宮崎大会へは、岩国工業高校、下松工業高校、新南陽高校、南陽工業高校、宇部工業高校の5校の作品が出品されます。詳しくは、本冊子の「第31回県高総文祭展示部門優秀作品一覧」をご覧ください。

最終日の9月27日には写真部会主催の写真コンテストを行い、7校15名の高校生が参加しました。錦帯橋や吉香公園でカラーフィルムを使って写真を撮影したのち、シンフォニア岩国に移動しました。末松先生は展示部門の講評の後、このコンテストの審査講評を行われました。このような研修を通して写真の技術が向上することを願っています。(理事長 眞崎)



第31回県高総文祭展示部門出品校一覧表

No.	学 校 名	美術	書道	写真	No.	学 校 名	美術	書道	写真
		作品数	作品数	作品数			作品数	作品数	作品数
1	周 防 大 島	4			27	青 嶺	3		
2	岩 国	3	4	6	28	田 部	4		
3	岩 国 商 業	4	4		29	西 市	3		
4	岩国商業(定時)		2		30	豊 浦	3		
5	岩 国 工 業	5		3	31	長 府	5	2	
6	柳 井	3			32	下 関 西	4	4	7
7	光	5		4	33	下 関 南	5	2	
8	光 丘	5			34	下関中央工業	4		
9	下 松	4			35	大 津	5		
10	下 松 工 業			6	36	萩	1		
11	熊 毛 北			4	37	萩 商 工	3	4	
12	徳 山		4		38	下関中等教育	5	4	
13	新 南 陽	4		10	39	防府総合支援		2	
14	南 陽 工 業			3	40	山口南総合支援	1		
15	防 府	3	4		41	山口総合支援	5		
16	防 府 西	5			42	下 関 商 業	5	4	
17	防 府 商 業	5			43	高 水	2	4	
18	山 口	5	4		44	誠 英	4		
19	山 口 中 央	4	4		45	中 村 女 子		3	
20	西 京	4		10	46	野 田 学 園		4	
21	宇 部	1			47	慶 進	5		
22	宇 部 中 央		3		48	香 川	1		
23	宇 部 西	3	4		49	サ ビ エ ル	5		
24	宇 部 商 業	3			50	萩光塩学院	2	3	
25	宇 部 工 業		2	10	共 同 制 作		1	1	
26	厚 狭	5			合 計		155	72	63

第31回山口県高等学校総合文化祭展示部門 優秀賞一覧

美術・工芸部門

優秀賞 美術・工芸部門全国出品作品

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
岩国高等学校	2	村川結理香	雨の足跡	F50
下松高等学校	2	会沢友理恵	INVISIBLE	100×100×160
下関西高等学校	2	勢一 美紀	つたない	F50
下関南高等学校	1	清木あかり	暗黒神話	B1
下関中等教育学校	2	植田 春菜	語り手	F50
下関商業高等学校	2	内野 希紀	歓迎	F50

優秀賞 美術・工芸部門

学校名	学年	氏名	題名	大きさ
岩国高等学校	2	上尾 彩那	絶対的“軸”	F50
岩国工業高等学校	2	立川 嵩	表と裏	B1
柳井高等学校	1	米川早絵子	誰も知らなかった頃にはもどれない。	B1
光高等学校	2	浜崎 彩里	天狐	F50
下松高等学校	2	国木 知美	女子高生2009	100×100×200
防府高等学校	2	原田沙那恵	ありがとう	B1
防府商業高等学校	2	山本 芹奈	Air	B2
山口高等学校	2	松村 那々	LISTEN HEART BEAT	B1
山口高等学校	3	高橋 晴江	つかまえた!	65×65×65
山口高等学校	3	宮崎 文香	ボンド革命3	B1
宇部商業高等学校	2	仁保 朱梨	捜し者	B1
青嶺高等学校	1	三好 弘将	INDUSTRY	F50
青嶺高等学校	1	野村 純子	アンシャンテ	F50
田部高等学校	2	久保田 和	あれっ!?	B1
長府高等学校	1	西澤 佑	魚々と!?	F50
下関西高等学校	2	林 朋子	瓦解	B1
大津高等学校	2	吉村紗代子	徒	B1
萩高等学校	2	波多野 楓	Re:nato	A1
萩商工高等学校	2	高下 知大	我は色彩神さま	F50
下関中等教育学校	3	濱 しほり	陥る	F50
下関中等教育学校	2	鋤田 喜子	対比	F50
下関商業高等学校	1	岸 晴香	いつかのSummer	F30
宇部フロンティア大学付属香川高等学校	2	清水 香澄	友達	F50
サビエル高等学校	2	中井 彩華	人間どもよ	F30

書道部門

優秀賞 書道部門全国出品作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
宇部工業高等学校	1	金重 悠利	臨 九成宮醴泉銘	135×35
下関西高等学校	2	亥川 知夏	臨 魏靈藏造像記	135×35
下関南高等学校	1	植村 奈緒	臨 祭姪稿	135×35
中村女子高等学校	2	有富 雪菜	臨 伊都内親王願文	165×45

優秀賞 書道部門

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
徳山高等学校	2	山崎 友貴	臨 礼器碑	半切
山口高等学校	2	弘中那保斗	臨 道因法師碑	135×35
下関西高等学校	2	河村 美希	臨 牛概造像記	135×35
下関中等教育学校	2	千代田嘉恵	臨 書譜	半切
防府総合支援学校	3	両国 りか	論語より	135×35
下関商業高等学校	2	吉田 早希	臨 曹全碑	136×35
高水高等学校	3	田中 遥	臨 乙瑛碑	165×45

写真部門

優秀賞 写真部門全国出品作品

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
岩国工業高等学校	2	小迫美由紀	棚田	全紙
下松工業高等学校	2	藤井 大河	ノックアウト	530×640
新南陽高等学校	1	河村 梨奈	お疲れ様	34×41
南陽工業高等学校	2	中川 達貴	川面にたたずむ	51×62
宇部工業高等学校	2	澄川 竜也	乱舞	53×64

優秀賞 写真部門

学 校 名	学年	氏 名	題 名	大きさ
新南陽高等学校	2	廣實加奈子	抱っこ	34×41

囲碁部門

会場：山口県立山口高等学校

理事長 富山 貴之
(山口高等学校教諭)

第31回山口県高校総合文化祭囲碁部門・第21回大会兼第34回全国高等学校文化連盟囲碁部門第23回大会県予選を、10月25日（日）に山口高校で開催しました。参加校は9校・参加者数は51名で、盤上で高校生同士の熱い戦いが繰り広げられました。この大会は、全国大会代表と中国大会代表を決める代表決定戦と段級位認定戦に分けて行われる大会で、男子代表決定戦には12名、女子代表決定戦には8名、段級位認定戦（男女混合）には31名の選手が参加しました。試合の進行はすべてスイス方式に従い、男子代表決定戦・女子代表決定戦・段級位認定戦ともに4回戦で行われました。

<大会結果>

団体男子 優勝 山口県立山口高等学校
女子団体 優勝 山口県立徳山商工高等学校

男子個人 優勝 野田学園 中島 剛
2位 下関西 河西 勇
3位 山口 杉山 純一
女子個人 優勝 高森 窄口 真実
2位 徳山商工 橋岡 ちひろ

<上位大会への出場権>

男子個人1位と2位、および女子個人1位は平成22年8月4日、5日に宮崎県日向市で開催される全国大会の団体戦のメンバーになります。また、個人男子3位と個人女子2位は同大

会の個人戦に出場します。過去2年間山口県チームは、団体戦で全国優勝を果たしています。その時のメンバーは残っていませんが、全国大会での上位入賞を目指して頑張りたいと思います。

また、12月25日（金）、26日（土）に岡山市の山陽新聞社本社ビルで開催された第13回中国高等学校囲碁選手権には、男子団体戦に山口高校、女子団体戦に徳山商工高校、個人戦には県内予選の男子上位6位までの選手（団体メンバーを除く）、女子上位2名が出場しました。結果については、「囲碁部門の報告」をご覧ください。

ここ数年間山口県の高校生の囲碁レベルは極めて高く、代表選手が全国大会で優勝するなど、全国にその実力を見せつけました。次の世代も着実に台頭しつつあり、今大会の上位入賞者も中国大会で大いに活躍しました。

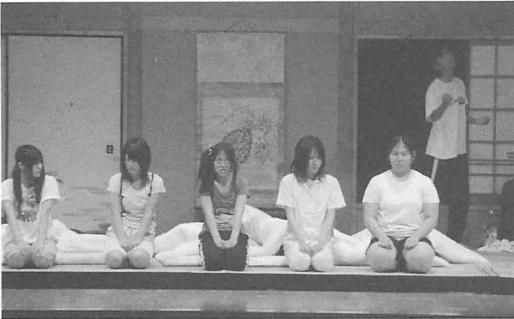


(対局風景)

演劇部門

会場 宇部市渡辺翁記念会館

理事長 金森健一
(下関商業高等学校教諭)



今年の県大会は、国指定の重要文化財に指定されている宇部市渡辺翁記念会館で、10月23日(金)リハーサル、24日(土)・25日(日)本番という日程で行なわれました。

参加校は、4地区から選ばれた代表9校です。今年は新型インフルエンザの流行で、部員が感染し出場が危ぶまれた学校もありました。キャスト一人が欠けても上演ができなくなる演劇の難しさを改めて感じさせられました。9校すべての上演ができたことは本当にうれしいことです。そして県代表には防府西高等学校と下関南高等学校が選ばれ、倉敷で行なわれた中国大会に出場、素晴らしい上演を披露しました。残念ながら全国大会出場はかないませんでした。山口県の高校演劇のレベルの高さを示してくれたと思います。

さて、大会では今年も篠崎光正先生に審査・講評をお願いしました。講評では、役者の言葉を観客の心に届けるために必要な話し方や動き方について、実際に生徒数名を舞台上で動かしながら説明をしていただきました。たとえば、横一列の芝居が良くないのは、役者が横一列に並ぶと、観客は誰が一番上手かを客観的に比較してしまいがちになるからだとか、観客に対して役者が、斜めや前後に並べば、観客は自分に近い方の人物に感情移入をしながら、遠い方の人物の話聞くものだなど、具体的に教えていただきました。



県大会を終えて思うことは、大会はお互いの学校の演劇の発表の場、競争の場であると同時に、お芝居を作りあげていくためのすばらしい研修の場ともなっているということです。平成22年度は11月に防府で県大会が開かれます。この大会がより多くの学びと喜びを私たちに与えてくれることを期待しています。

第31回山口県高等学校総合文化祭(演劇部門) 第28回山口県高等学校演劇大会

上演校(上演順)	上演作品	作者◇は創作
宇部中央校	Heaven's Gate 東祐実子『永羅』 より	古田 裕稀◇
○下関中等教育学校	探し屋本舗	川原一恵原案 阿比留由美作 演劇部潤色◇
◎防府西高校	修学旅行	畑澤 聖悟
新南陽高校	DEAR SISTER	小木曾 里美
◎下関南高校	出停記念日	島元 要 演劇部潤色
岩国高校	交換部品～プロ ログとエピソード のある一幕	角田 和則
防府商業高校	贗作マクベス	中屋敷 法仁
下関商業高校	銀河旋律	成井 豊
サビエル高校	今更中2病	東 祐実子

◎最優秀校(中国大会出場) ○創作脚本賞◇創作
講師・審査員

篠崎 光正(演出家 桐朋学園芸術短期大学

・東京藝術大学非常勤講師)

山口 武信(高等学校演劇協議会中国地区顧問 劇作家)

村岡 圭吾(山口県高等学校演劇協議会常任理事

山口県鴻城高等学校演劇部顧問)

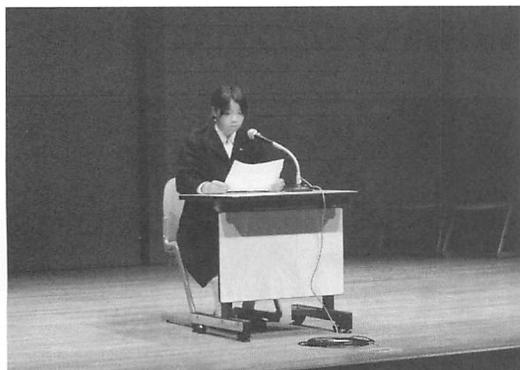
放送部門

理事長 小倉 誠 司
(岩国高等学校教諭)

11月7日(土)山口市のニューメディアプラザ山口で第31回山口県高等学校総合文化祭第16回放送部大会が開催されました。インフルエンザのため、朗読部門4名、アナウンス部門2名の出場辞退があったものの、朗読部門23名(昨年29名)、アナウンス部門27名(昨年22名)、オーディオピクチャー部門4校(昨年6校)、ビデオメッセージ部門4校(昨年3校)が出場しました。

朗読部門、アナウンス部門の審査員は、テレビ山口の横溝洋一郎アナウンサー、山口朝日放送の井川弘宜アナウンサー。番組(オーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門)の審査員は山口放送ディレクターの徳永謙太郎さんをお願いしました。採点だけでなく、発表者一人一人に対して丁寧なコメントを書いていたいたり、大会閉会後も遅くまで希望者に個別指導をしていただくなど、とても勉強になった一日になりました。

生徒各自が、自分の印象に残った発表者や番組に対する感想を書いて該当者に渡すという昨年度からの試みを今年も行ったところ、様々な感想が寄せられて、好評でした。



大会の結果は下記のとおりです。

朗読部門

最優秀賞	熊毛南高等学校	高瀬 友
優秀賞	熊毛南高等学校	淡路 歩惟
	山口農業高等学校	草刈 俊
入賞	岩国高等学校	鳥井元ひとみ
	光丘高等学校	青柳 美音
	熊毛南高等学校	笹木 愛美

アナウンス部門

最優秀賞	熊毛南高等学校	榊原 穂香
優秀賞	徳山高等学校	長藤 由貴子
	宇部高等学校	嶋野 寛章
入賞	熊毛南高等学校	清水 華菜子
	山口農業高等学校	守永 汐香
	光高等学校	木本 健太郎

オーディオピクチャー部門

最優秀賞	徳山高等学校	100年分の贈りもの
------	--------	------------

ビデオメッセージ部門

最優秀賞	岩国高等学校	祖生の柱松
------	--------	-------

アナウンス部門、朗読部門は最優秀賞1名と優秀賞2名、番組部門は最優秀賞が8月4日(水)5日(木)に宮崎県で行われる第34回全国高等学校総合文化祭に出場することになります。

将棋部門

会場：防府市文化福祉会館

理事長 弘中敏之
(徳山高等学校教諭)

第31回山口県高等学校総合文化祭将棋部門大会は、第33回全国高等学校総合文化祭将棋部門大会兼第45回全国高等学校将棋選手権大会県予選を兼ね、5月23日(土)24日(日)の2日間開催されました。開会式には山口県教育庁高校教育課の兼重勇先生をお迎えしました。今年から女子団体の部が設けられたこと、男子のレベルが団体、個人共に拮抗していることもあり、参加選手の皆さんの意欲が溢れる活気のある大会となりました。

男子団体戦には7校17チームが、女子団体戦には3校4チームが参加しました。男子は5ブロックに分かれて総当たりリーグによる予選を行ない、成績順に上位8チームが決勝トーナメントに進出しました。今回は下関西高校の強さが目立つ大会となりました。女子は総当たりリーグ戦でしたが、宇部高校と防府高校の強さが光りました。

2日目になり、男子個人戦では10校から63名がエントリーし8ブロックに分かれての予選および予選通過者32名による決勝トーナメントが戦われました。決勝戦は宇部高校の鈴木君と徳山高校の岩田君の対局となりました。9名がエントリーした女子個人戦は予選4対局の準スイス式トーナメントの後、上位4名による決勝トーナメント戦でしたが、宇部高校同士、藤上さんと鈴木さんの決勝戦となり男女とも宇部高校の伝統の健在ぶりを示す結果となりました。

○男子団体戦 17チーム

- 第1位 下関西高校B
河野浩和・植村卓也・川口貴大
- 第2位 下関西高校A
村田健治・松田永遠・河西勇
- 第3位 防府高校C・宇部高校

○女子団体戦 4チーム

- 第1位 防府高校G2
横山小百合・高橋亜弥・中村彩乃
- 第2位 宇部高校
藤上由莉佳・鈴木里沙・野中くれあ
- 第3位 防府高校G1

○男子個人戦

- 第1位 鈴木正博(宇部高校)
- 第2位 岩田和太(徳山高校)
- 第3位 松野貴司(防府高校)
- 村田健治(下関西高校)
- 敢闘賞 齋藤涼(下関中央工業高校)
- 田中貴典(防府高校)

○女子個人戦

- 第1位 藤上由莉佳(宇部高校)
- 第2位 鈴木里沙(宇部高校)
- 第3位 野中くれあ(宇部高校)

男女団体戦の各優勝チームと男子個人戦の優勝者および女子個人戦の上位2位は三重県志摩市で開催された全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。



文芸部門

理事長 國嶋洋治
(徳山商工高等学校教諭)

第31回山口県高等学校総合文化祭〔第3回山口県総合芸術文化祭〕協賛事業

第7回山口県文芸コンクール大会結果報告

参加校14校

応募参加数総数107名 応募作品数96作品

部門別応募作品数

詩部門48作品 小説部門28作品 短歌部門20作品 俳句部門9作品

入賞結果(集計評点数による)

最優秀学校賞 1位 山口県立防府高等学校
詩部門1名 短歌部門1名 俳句部門1名 以上3名
2位 山口県立萩高等学校
散文部門1名 文芸誌部門1名 以上2名

上記2校5名(各部門1名)は平成22年開催予定の「第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)」に山口県高文連文芸専門部より推薦

学校特別賞 1位 山口県立西京高等学校

2位 山口県立華陵高等学校

上記2校は平成22年開催予定の「第12回高校生文芸道場中国ブロック大会(島根大会)」に山口県高文連文芸専門部より推薦

部門別個人表彰

小説部門	最優秀賞「メッセージ」	山口県立徳山高等学校	江浪 香織
	入選「錯想組曲」	山口県立徳山高等学校	小西 明子
	「ピエロ」	山口県立徳山高等学校	池本 悠佳
	「猫にまつわる小さな出来事」	山口県立徳山高等学校	佐田 怜香
	「パンパンパパパンパパンパンパン」	山口県立萩高等学校	岡野 智志
	「青雲人」	山口県立萩高等学校	仲村 あかね
	「大きな桜の木の下で」	山口県立山口高等学校	中村 竜輔
詩部門	最優秀賞「ノイズ」	山口県立防府高等学校	神山 静佳
	入選「落としもの」	山口県立萩高等学校	黒田 莉々
	「四重奏～カルテット～」	山口県立萩高等学校	三井 康嘉
	「風船」	山口県立防府高等学校	徳田 美沙希
短歌部門	最優秀賞「無題」	山口県立防府高等学校	横山 小百合
	入選「無題」	山口県立防府高等学校	白石 紗也
	入選「無題」	山口県立柳井商工高等学校	河内 夏海
俳句部門	最優秀賞「無題」	山口県立防府高等学校	有富 友香
	入選「無題」	山口県立華陵高等学校	国澤 智裕

第33回全国高等学校総合文化祭の記録

うま
～**美し国 三重**～

この場所、この時に 情熱でつくりあげる わたしたちの舞台

全国高総文祭（三重大会）参加校一覧

部門	高等学校	参加生徒数	出品点数	備 考
パレード	慶進	(14)		(2校合同出演) バトントワリングにも出演
	誠英	(17)		
演劇		0		
合唱		0		
吹奏楽	県立熊毛南	23		演目 福島弘和作曲「染塵秘抄～熊野古道の幻想～」他
器楽管弦楽	県立防府	36		演目 チャイコフスキー作曲「弦楽セレナーデ」他
日本音楽		0		
マーチングバンド・バトントワリング	慶進	14		演目 2校合同「Dig yourself!」
	誠英	17		
美術・工芸	県立岩国	1	1	彫刻 「いただきます」 松原由佳
	県立山口	1	1	デザイン 「いつもどおり？」 大堀知広
	県立宇部	1	1	絵画 「哀色」 秋村紀代美
	県立豊浦	1	1	絵画 「苦い記憶にはフタをしろ」 河村彩乃
	県立下関中等教育	1	1	絵画 「綿とガラス」 鋤田喜子
	下関商業	1	1	絵画 「ROOT」 入江早紀
書道	県立岩国商業	1	1	漢字 「臨 集字聖教序」 沖永祐子
	県立山口	1	1	漢字 「臨 建中告身帖」 久保瑞希
	県立下関中等	1	1	漢字 「臨 牛欄造像記」 橋本友貴
	下関商業	1	1	漢字 「臨 雁塔聖教序」 前寺美樹
写真	県立岩国工業	1	1	単写真 「老木」 小迫美由紀
	県立熊毛北	1	1	単写真 「鏡の中の親友」 今村明日香
	県立新南陽	1	1	単写真 「戯れ」 柳田慶一
	県立宇部工業	2	2	単写真 「猫視」 末廣大志 単写真 「あっかんべえ～」 澄川竜也
放送	県立岩国総合	1		朗読 石橋奈々
	県立徳山	4	1	アナウンス 河井実咲 アナウンス 戸崎安由美 オーディオピクチャー 優しき勇者「ツネゴン」 月谷光暁 佐伯友美
	県立山口	3	1	朗読 山本有希子 朗読 木村友香理 ビデオメッセージ 山口といえば・・・ふぐ？重枝侑子
	県立宇部	1		アナウンス 嶋野寛章
囲碁	県立周防大島	1		団体戦(男女混合) 堀本範子
	県立防府商業	1		個人戦(女子) 吉武勝子
	県立山口中央	1		団体戦(男女混合) 阿武貴裕
	県立下関西	(1)		団体戦(男女混合) 河野浩和
	県立萩	1		個人戦(男子) 田中浩貴
将棋	県立下関西	3		団体戦(男子) 河野浩和 植村卓也 川口貴大
	県立防府	3		団体戦(女子) 横山小百合 高橋亜弥 中村彩乃
	県立宇部	3		個人戦(男子) 鈴木正博 個人戦(女子) 藤上由莉佳 鈴木里沙
文芸	県立柳井商工	3		俳句 杉山絵美 谷山明代 福本友美
	県立萩	2		詩 岡崎美咲 文芸部誌 守永成美
総合開会式	県立岩国	1		岡田青也(岩国高)
合計		参加生徒数 133名		

全国高総文祭(三重大会)に参加して

山口県立防府高等学校
弦楽部部长 2年 吉松 秀隼

今年の夏、私たち山口県立防府高等学校弦楽部は第33回全国高等学校総合文化祭三重県大会に山口県の代表として参加させていただきました。私たちにとって全国大会という大舞台に立つ、ということは初めての体験であり全国の舞台上で悔いの残らぬよう精一杯演奏しよう、という気持ちでこの大会に臨みました。

今回、全国の舞台上で演奏した2曲は、長い間2・3年生が共に練習し切磋琢磨しながら上達してきた想いがたくさん詰まった曲でした。その曲をこの大会で演奏することができるという喜びと緊張で胸がいっぱいで、演奏が終わった後心地よい達成感で満たされました。また、全

国各地の高校生の演奏を聞き、音色の美しさや表現方法など学ぶことも多くあり、私たちにとって貴重な機会だったと思います。音楽が大好きな仲間がたくさんいることにも嬉しくなりました。

この大会で演奏することを春から目標にして私たちはがんばってきました。時には、山口県代表というプレッシャーに負けそうにもなりましたが、お互い励ましあい、支え合いながら練習をし、角中先生ご指導のもと最高の音楽を作ってきました。その結果、私たちの音楽について嬉しい講評をいただき、練習の成果が出たと、とても嬉しく感じました。

この大会を通じて、私たちはかけがえのないものを得られたと思います。この舞台上で演奏できたことは私たちの最高の思い出です。出場にあたり、お世話になった多くの方々はこの場を借りてお礼申し上げます。



山口県立防府高等学校 弦楽部

吹奏楽部門

会場：三重県文化会館大ホール

山口県立熊毛南高等学校 2年 藤山 李穂

私たちは7月30日（木）～31日（金）の二日間、三重県文化会館で行われた吹奏楽部門に参加しました。30日、学校を出発してバスで5時間、ようやく三重県津市に到着しました。会場に到着すると、まずは大きなホールと施設に驚きました。そして私たちは少し緊張した中で、1日目の演奏を鑑賞しました。他県の高校生の熱気あふれる演奏やパフォーマンスに圧倒され、私たちも徐々に大きな大会に参加するという実感がわいてきました。

1日目の演奏が終わったあと、全国から集まった2000人の高校生と、地元の高校生で交流会が行われました。交流会では、今大会講師の鈴木英史先生によるピアノと佐川聖二先生のクラリネットの演奏に始まり、各校2名ずつで構成した合同バンドで鈴木先生作曲の「吹奏楽のためのプレリュード～時計台の鐘の旋律による

～」を佐川先生の指揮で演奏、地元の高校生によるゲーム、そして最後には会場いっぱいの2000人を超える高校生で「星条旗よ永遠なれ」を演奏しました。とても迫力があり、吹奏楽の楽しさをあらためて感じることができました。

いよいよ二日目の朝、私たちの出演の日になりました。23人での演奏はもちろん、練習の合間に山口と吹奏楽への想いを描いて作った大きな横断幕を広げ、全力をステージでだしました。そして演奏後には会場から温かい拍手をいただき、私たちにより一層の感動と大きな力をいただきました。

この二日間で、貴重な体験をたくさんすることができました。私たちのような小編成のバンドに、このような機会をあたえていただいたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になったすべての方に感謝し、これからの活動に生かしてがんばっていきたいと思います。ありがとうございました。



山口県立熊毛南高等学校 吹奏楽部

マーチングバンド・バトントワリング部門

会場：三重県営サンアリーナ

慶進高等学校バトン部

3年 植村 裕美子

山口県の代表として慶進高校と誠英高校の二チーム合同で出場しました。一年間の中で一番大きな行事であり、練習量も多く、夏場での練習はとても厳しいもので、練習する上でたくさんの苦労がありました。三年間最後の行事である三年生は受験もあり、その中でも練習には手を抜かず、最後までやり遂げてきました。また、合同という事でなかなか練習を合わせる機会がなく合同で練習するたびに意見のくい違いや、演技上での振りつけの違いがたえませんでした。しかし、最後まで諦めずにやり遂げようという気持ちは全員一緒でした。たくさんの苦労

の中後輩も必死でついてきてくれて演技を完成することが出来ました。たった数分の演技に何ヶ月もの練習を重ねてきました。本番終了後は嬉し涙で終えることが出来、たくさんの拍手の中私達の演技は無事幕を閉じることが出来ました。

先生方、家族、友人、たくさんの方々のサポートがあってこそ、このような演技をすることが出来たのだと思います。このメンバーで演技できたことはとてもよい経験になりました。

今後、後輩にはキャプテンを中心として団結し、今回の反省点を生かしてよりよい演技が出来るよう、今まで以上に練習を積み重ねていってほしいです。



パレード
山口県合同チーム
(慶進高校・誠英高校)



日本音楽部門

会場：鈴鹿市民会館

理事長 好川 眞知子
(下関南高等学校教諭)

7月末の雨は山口から三重へと追いかけてきて、鈴鹿市も曇天や小雨続きの2日間。会場となった鈴鹿市民会館はエアコンの冷氣と観客と演奏者の熱気が程よく調和していてこれから2日間音楽に浸るのにぴったりの環境である。

いづこの高校か「一音気迫」と染め抜いた揃いの黒のTシャツの一团。電車から会場に直行した様子のスーツケースをゴロゴロさせた応援家族の一团。皆、参加校51校、4団体の競演を待っている。

どの出場校もその演奏や演奏姿勢は堂々として一音一音がきりりと美しい。静かな音、怒濤のような音、その一音に若者のエネルギーがあふれ、県大会を勝ち抜いてきたものの誇りと覚悟に満ちている。緞帳は使わず、場面転換は全て暗転のなかで行われ、整然と進行していく。感動的な演奏であれば、退場する生徒の後ろ姿に大きな拍手が送られる。

山口県等一部の県を除くほとんどの高校が県の選抜大会を勝ち抜いてきたのである。常連校も多く、そういった高校は出場生徒も最大限の25名、十七弦は3～5箏と、迫力ある音の狂宴である。

今回文部科学大臣賞の最高賞に輝いたのはそういう常連校の岩手の盛岡第二高、「プロの作曲家の協力を得た」オリジナル曲「風雪の舞」で勝負をかけてきた。

いわゆる伝統的な箏の音色とイメージと情緒性を一切廃し、糸を激しくたたきつけるバチさばきで私の度肝を抜いたのは東京都立狛江の「糸のためのコンチェルト」。

ジャズを連想させ、同時にリズムとハーモニーが軽快に踊る関西創価の「カプリッチオ」バチ使いが激しく、ちょっとしたアクシデント

にも負けず文化長官賞をさらっていった宇都宮海星女子学院の「焰」。

オーケストラを思わせる現代的な楽曲の合間に自ら琴をつま弾きながら妖艶にうたいあげる青森東の山田流による「ひぐらし」。同様に箏と古謡が見事に調和した和洋九段女子の「嵯峨の秋」はかえって新鮮である。

一瞬として退屈することのない、極めてレベルの高い大会だったように思う。そして箏の方向性と可能性を探る大会であったようにも思う。審査の基準が異なれば、どの高校にも入賞の可能性はあったのかもしれない。そして何よりも心強く思ったのはこれほど真剣に情熱的に日本音楽に取り組んでいる高校生が存在を目の当たりにしたことであった。

以下は今年度の入賞校であり、上位4校は同年8月国立劇場で演奏を披露した。

今年度入賞校

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| 文部科学大臣賞 | 岩手県立盛岡第二高等学校
「風雪の舞」(25名) |
| 文化長官賞 | 宇都宮海星女子学院
「焰」(18名) |
| 文化長官賞 | 大阪関西創価高等学校
「カプリッチオ」(25名) |
| 文化長官賞 | 徳島県立城東高等学校
「子供のための組曲」(19名) |
| 優良賞 | 名古屋市立菊里高等学校
「箏四十箏曲」(25名) |
| 優良賞 | 兵庫県立北摂三田高等学校
「飛驒によせる三つのバラード」(14名) |
| 優良賞 | 和歌山県立日高高等学校
「箏四十箏曲」(14名) |
| 優良賞 | 東京都立狛江高等学校
「糸のためにコンチェルト」
(22名) |

理事長 宮崎龍次

(下関商業高等学校教諭)

今回全国総文祭に出品された生徒のみなさんより感想文をいただいています。

出品作品『いつもどおり?』

山口県立山口高等学校

3年 大堀知広

この度の三重での全国大会では、各県から選ばれた多くの作品に直接、出会うことが出来本当に良かったと思います。改めて、様々な手法があるものだと驚かされました。いずれの作品も立派なものばかりで、とても刺激を受けました。今回の思いを胸に、今後、新たな気持ちで頑張ろうと思います。有難うございました。



出品作品『哀色』

山口県立宇部高校

3年 秋村紀代美

数多くある作品のそれぞれが、とても完成度が高く、個性にあふれていました。その中で見る自分の絵は、とても小さく感じられ、自分の未熟さを思い知りました。しかし、私の作品もそこに並べられたことを嬉しく思います。もしもこの体験がなかったら、私は今ほど美術に触れたいとは思っていなかったと思います。



出品作品『いただきます』

山口県立岩国高等学校

松原 由佳

私は全国から集まった数々の作品を見て「すごい」と思いました。しかし、その数々の「すごい」は決して一概に評価できるものではなく、「個性」とは何たるかを学んだように思えます。

また、他県の人との交流会では、他の人の芸術に対する真摯さを見て、感銘を受けました。



出品作品『ガラス』

山口県立下関中等教育学校

5回生 鋤田 喜子

三重総文で、会場に並べられてある作品を見て、本当に自分と一つ二つしか歳の違わない人たちの創造したものなのかと疑うほどの衝撃を受けました。そして、色使いや構図、作品そのものから発せられるもの全てにおいて感服すると同時に、自分の技術や構想などの未熟さを痛感した大会でした。大変勉強になりました。



作品タイトル『ROOT』

下関商業高等学校

3年 入江 早紀

私は、2年生の時に第30回山口県高等学校総合文化祭で、夢であった全国への切符を手に入れた。この絵には、たくさんの自分の想いが詰まっており大切な作品だ。こんなふうにならなくていい。私を支えてくれた皆さんには心から感謝している。



作品タイトル『苦い記憶にはフタをしる』

山口県立豊浦高等学校

3年 河村 彩乃

全国大会となるとレベルが高く、技法や表現方法も異なっていて、作品一つ一つに凝縮された個性に圧倒されました。また、ボックスアートを作った交流会で様々な意見や苦勞、作品に対する思い入れを聞くことができ、自分の糧にすることができました。参加させていただき、本当にありがとうございました。



書道部門

会場：三重県文化会館ギャラリー

全国展に出品した4校の生徒のみなさんに、それぞれ感想をいただいていますので、ご紹介します。

山口県立下関中等教育学校 橋本 友貴

『臨 牛撮造像記』

今回全総文に参加できたことは、自分にとってとても刺激になったと感じています。自分も出せる限りの力を発揮したつもりでしたが、全国の作品の中に並ぶと力不足を感じました。自分のように、中途半端にただ練習するのではなく、人生を捧げてまで書道に打ち込むことができるのは、素晴らしいことだと思います。自分もそこまではいかずとも、書道に対する愛と情熱を持って取り組んでいきたいと強く感じました。

こういったことは、書道だけでなく、何事にも言えることではないかと思えます。書道を学ぶということは、人生を学ぶことに繋がると自分は思いました。

下関商業高等学校 前寺 美樹

『臨 雁塔聖教序』

三重県全総文祭の参加は名誉であり、大変貴重な経験をすることができました。全国の高校生の作品を見て、圧倒されました。どの作品を見ても本当にすばらしく、改めて全国のレベルの高さを感じました。全国から選ばれた多くの作品は、完成度も高く、また書体もさまざま個性あふれる作品ばかりでした。作品を見ているうちに、今まで自分が書いたことのない書体にも挑戦したいと思いました。

交流会では、他県の人と仲良くなることができ、本当に楽しい時間を過ごせました。この全国大会出場は、私の高校時代の財産となりました。この経験を生かし、これからも大好きな書道を頑張っていこうと思います。日々感謝の気持ちを忘れずに書道に励んでいきたいです。



山口県立山口高等学校 久保 瑞希

『臨 建中告身帖』

全総文祭への参加は、たくさんの同年代の方々の作品に触れることができ、また、その中で自分の作品を見つめ直す機会となった大変貴重な経験でした。それは、様々な書体で書かれた、思わず目を引くような表現豊かな迫力のある作品ばかりで、自分の作品の未熟さを痛感しました。それと同時に、もっと色んな表現を試してみたい、もっと人の心をひきつけるような書にしてみたいと、思ったのを今でも覚えています。そのためには練習量はもちろん、ひとつひとつに集中し納得がいくまで努力することが大切だということも、全総文祭で学んだ事の一つです。

今回の経験を基に、書道だけでなく様々な事に対して直向きに努力するように心がけたいと思っています。

山口県立岩国商業高等学校 沖永 祐子

『臨 集字聖教序』

はじめて自分よりも大きな紙いっぱい字を書きました。今までは半紙に二文字や四文字など、規模の小さなものしか書いたことがなかったので、字の大きさのバランスなどを意識しながら書くのは難しかったです。自分なりに、いろいろと迷いながら精一杯書いたつもりだったけど、全国の作品を見るとどれもレベルが高く、堂々としていて、見ていてとても気持ちのよくなるような作品ばかりでした。また、自分が今まで書いたことのない書体の作品を見て、自分も挑戦してみたいと思うものがたくさんありました。

全国から集められた作品を一度にこんなにたくさん見られるという、素晴らしい機会はなかなかない事だと思うので、この経験を忘れず、これからも書道を楽しみながら、もっと字を達させたいと思います。



山口県立宇部工業高等学校

写真部 2年 澄川 竜也

昨年の秋、私は学校の暗室に毎日のように夜遅くまで残って写真を仕上げました。

なかなか上手いかず、写真の難しさを知りました。そして迎えた大会では見事に全国大会への切符を手にする事ができますが、本当に自分の作品で良いのか疑問に思う事もありました。しかし、全国のレベルをこの目で確かめられるチャンスだと捉え、楽しみにしてきました。

そして旅行初日を迎えました。顧問の大濱先生等と共に新幹線に乗り込み京都へと向かい、京都からは近鉄特急に乗車して三重県は宇治山田駅へと向かいました。

宇治山田駅に降り立った私達は、交流会に参加するべく、会場である駅前のホールへと向かいました。交流会では、自分達の撮ってきた写真を交換し合い、自分達の住む県について紹介するというものでしたが、余り上手く紹介する事ができず、他県の人とも余り話す事が出来な

かったのが少し心残りです。

翌日は撮影会の下見も兼ねて伊勢神宮へと向かいました。この日はあいにくの雨模様で、うっかり私が前に伊勢神宮に来たときも雨だったと言う話をしてしまったところ、雨男だというレッテルを貼られてしまいました。伊勢神宮では20年に一回の橋の架け替え工事が行われており、二つの橋が並ぶ貴重な光景を目にする事が出来ました。

その後、私達の作品が展示してある体育館へと向かい、作品を鑑賞しました。展示してある作品はどれもすごいものばかりで、構図や被写体等が工夫されていて、撮影者のアイデアや写真から伝わってくるメッセージは、どれも私のより優れていると感じました。大濱先生に一つ一つ解説をして頂き、全国のレベルの高さを実感する事が出来ました。

最後になりますが、今回この全総文三重大会に参加する事が出来て本当に良かったと感じています。お世話になった関係者の方々や三重県の生徒さん方、ありがとうございました。



山口県立山口中央高等学校

3年 阿武 貴裕

8月1日（土）～2日（日）に三重県志摩市の阿児アリーナで開催された第33回全国高等学校総合文化祭の囲碁部門に、山口県の団体メンバーとして下関西高校の河野浩和君（3年）・周防大島高校の堀本範子さん（3年）とともに出場しました。今回の大会は僕にとって、昨年度の大会に引き続き2回目の団体戦での全国大会への出場であり、どうしても2連覇したいという強い気持ちで大会に臨みました。今年度のメンバーは3人とも3年生で、これが最後の大会になるので、このメンバーで是非優勝をねらっていたと思っていました。大会はスイス方式（勝ち数が同じチーム同士を組み合わせる）で行われ、2回戦までの福島・愛媛との対戦は順調に進んだのですが、3回戦以降は厳しい戦いが続

きました。3回戦で東京、4回戦で大分、5回戦で大阪と対局し、なんとか勝つことができました。5回戦終了時点で、山口県チームのみが全勝だったのですが、6回戦の愛知との対戦に負けてしまうとスイス方式のため優勝できなくなる可能性があるため、最後まで気を抜かず3人で気合いを入れて対局に臨みました。結果、3人とも勝利をおさめ、全国優勝を成し遂げることができました。

僕は高校卒業後、大学に進学し囲碁部に入りたいと思っています。大学でも今大会の経験を生かし、頑張っていきたいと思っています。来年度の全国大会の山口県代表メンバーが、是非3連覇を果たしてくれることを願っています。また、周りの人々への感謝の気持ちを忘れることなく、僕自身さらに力をつけていきたいと思っています。



(団体戦 対局風景)



(団体戦優勝メンバー)

放送部門

会場：松阪市民文化会館

松阪コミュニティ文化センター

理事長 小倉誠司
(岩国高等学校教諭)

放送部門は8月1日(土)2日(日)三重県松阪市の松阪市民文化会館で開催されました。

松阪市は昨年度のNHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門の課題に選ばれた「城のある町にて」(梶井基次郎)の舞台になった町で、大会会場の近くにある松阪城跡にある梶井基次郎の文学碑には他県からの放送部員たちの姿も多く見られました。

大会初日の8月1日は、開会式で特別審査員の声優水田わさびさん登場で会場が盛り上がる中各部門の発表が始まり、山口県勢は午後からオーディオピクチャー部門、ビデオメッセージ部門、アナウンス部門の発表を行いました。

今年度のテーマは「道」(ビデオメッセージ部門は「郷土」)で、オーディオピクチャー部門では徳山高等学校が周南市出身の故津田恒美投手の歩んだ道を描いた「優しき勇者『ツネゴン』」を、オーディオピクチャー部門では山口高等学校が「山口といえば・・・ふぐ?」の発表を行いました。

アナウンス部門には徳山高等学校の河井実咲さん、同じく徳山高等学校の戸崎安由美さん、

宇部高等学校の嶋野寛章君の3名が出場しました。

河井さんは27年ぶりにインターハイ出場を果たした徳山高等学校ハンドボール部のインターハイまでの道を伝える「勝利への道」を、戸崎さんは周南市の花火大会で夜空に上がる花火に、空襲の体験を重ねる林さんへの取材を通して平和への思いを伝える「未来への道」を、嶋野君は漂白の俳人種田山頭火に題材を求めた「うしろすがたのしぐれていくか」を発表しました。

2日目の8月2日は朗読部門の発表で、岩国総合高等学校の石橋奈々さん、山口高等学校の木村友香理さん、同じく山口高等学校の山本有希子さんの3名が出場しました。

朗読部門は「郷土にゆかりのある作家または作品の中から」選んで朗読するのですが、石橋さんは岩国市出身の宇野千代作「おはん」を、木村さんと山本さんは、山口高等学校の先輩である重松清作「日曜日の夕刊」を発表しました。

結果は木村友香理さんが、見事最高賞である優秀賞(各県3名出場中上位10名が受賞)を受賞しました。



優秀賞を受賞した木村友香理さん(山口高校)



将棋部門

会場：賢島宝生苑

理事長 弘中敏之

(徳山高等学校教諭)

山口県立防府高等学校

2年 高橋 亜弥

7月29日から3日間、三重県志摩市で全国高総文将棋部門大会が開催されました。男子は190人、女子は200人が参加しました。特に女子の出場人数の多さには驚かされました。山口県内では女子高校生の将棋人口は十数人と少なく、周りの友達で将棋をやっている、将棋に興味があるという人は全くいません。全国にはこんなにたくさん将棋を指している女子がいるんだと、とても嬉しく思いました。

私たち防府高校は、女子の団体戦に出場しました。高校入学後に将棋を始めた者ばかりですが、練習の成果を発揮することができ、3位に入賞することができました。負けてしまった準決勝は、相手の攻めにうまく対応できず、悔いが残る敗戦でした。悔しさをバネに、次は納得いく将棋が指せるよう練習を頑張ろうという気持ちを持って対局でした。仲間3人で団体戦に出場したこの全国大会で、色々学び成長することができました。また、いつも親切に将棋を教えてくださいと、山口県内の将棋愛好家の方への恩返しも、少しはできたのではないかと思います。これからも将棋を続けていき、もっとたくさんの人に将棋に興味を持ってもらえたらいいなと思います。



〈男子団体〉下関西高等学校

河野浩和・植村卓也・川口貴大

- 一回戦 安積高校 (福島県) 勝 (2勝1敗)
 - 二回戦 灘高校 (兵庫県) 負 (0勝3敗)
 - 三回戦 山形東高校 (山形県) 負 (1勝2敗)
 - 四回戦 伊勢高校 (三重県) 負 (1勝2敗)
- 1勝3敗 予選敗退

〈女子団体〉防府高等学校

予選3勝1敗で予選通過

○決勝トーナメント準々決勝 杵築高校

勝 3勝0敗

○決勝トーナメント準決勝 岡山朝日高校

負 0勝3敗

第3位入賞

〈男子個人〉

鈴山正博 0勝4敗 予選敗退

〈女子個人〉

鈴木里沙 2勝2敗 予選敗退

藤上由莉佳 1勝3敗 予選敗退



文芸部門

会場：伊勢市生涯学習センターいせトピア

文芸部門参加レポート

山口県立柳井商工高等学校文芸部

- 1 大会日程（＊印に参加）
 - 7/31（金）開会式・文学散歩
 - ＊8/1（土）部門別交流会・分科会（小説・短歌・俳句の各部門に参加）
 - ＊8/2（日）記念講演会・講習会・閉会式
- 2 主会場 いせトピア
- 3 部門別交流会・分科会の概要と感想

《散文部門》谷山明代

初めに講師の松島節先生から、小説とはどういうものかというお話や、私たちがこれから小説を書くうえで、読んでおくと役に立つ海外の作品などの紹介をしていただいた。その後、グループ内で簡単な自己紹介をしながら他県の生徒との交流を深めていった。その際、三重の実行委員の生徒の方が会話の流れをスムーズにするなど尽力してくださった。

午後からの分科会では、参加者の作品について研究し、批評をした。私たちのグループは、始めから積極的な意見交換ができ、話し合いはとても有意義なものとなった。そして分科会の最後には、松島先生から参加者の作品ひとつひとつに対しての批評をいただいた。

《短歌部門》福本友美

分科会では初めに、文学散歩で廻った伊賀などで作った短歌を名前を伏せてグループで討論し合った。グループごとに一首推薦歌を出し、全体で討議するという流れで行った。参加者からの「ここをこうしたらもっと良くなるのではないか」、「この意味を説明してほしい。」などという様々な意見のあと、講師の先生方に各グループが選んだ推薦歌や他の歌についての良いところや悪いところをご指摘いただいた。

昼休みを挟んで午後からは、大会前に事前に作成した三首をこれも名前を伏せて討論していった。自由詠の歌なので午前の歌とは違う面白みがあった。グループ内では推薦歌を選ぶにあたって、午前にも増して熱い討論が行われた。全体討議においてもとても活発に意見が出され（中には破天荒なものもあったが）、参加者が情熱を持って短歌を作っていることがよくわかった。「もし僕がyならあの子はxとグラフに描いた黒板を見る」という歌は、グループ内でも全

体討議でも大変好評だった。君と僕を“X”と“Y”に例えることで、君と僕との関係を方程式や二次関数としてとらえ、それも比例・反比例などいろいろな想像が出来ること、熱論が繰り広げられた。果てには三次関数という上がっては下がっての関係だろうという想像力豊かな意見も出て、この短歌の討議は幕を閉じた。

一つひとつの言葉が持つ重みを感じるとともに、今後、短歌を作っていくうえで押さえておかなければならない基本的な事項を学ぶことができ、大いに勉強になった分科会だった。

《俳句部門》杉山絵美

俳句部門の交流会・分科会では、最初に一人ずつが出身地、学校名、名前、好きな俳句や学校の特徴などを交えた自己紹介をした。

そして、午前中は前日の文学散歩で詠んだ句についての合評会を行った。一つの俳句に対して一人ひとりが、いろいろな解釈を持っていることを実感し、俳句の面白さを再発見した。

4 記念講演会の感想

『「身体」から「文体」への旅』

清水良典先生（愛知淑徳大学教授・文芸評論家）

「人は「文体」を持つことによって（文章を書くことによって）、生身の「身体」では成しえなかったことができるようになる。また、「文体」のイメージが「身体」に乗り移り、以前の「身体」とは異なった「身体」を手に入れることができる。」というような内容であった。

具体的な例を挙げての先生のお話からは、今の文学の傾向や、有名な作家の文のスタイルなどを知ることができた。そして小説のタイトルの大切さ、付け方のコツを教えていただけたことは本当にためになるものだった。



山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 No.1

数字は実施年度（62～63は昭和、1～20は平成）、※は今年度実施予定、（定）は定時制、（分）は分校

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	胡弓打楽器 トランペット	尺八と琴 オペレッタ	交響楽団	演劇	金管合奏 de リズム	奏 な ム	ソプラノ 電子オルガン & Vn Vc	リコーダー リュート
1	周防大島		63				7	3,4,10	10,21				
2	岩国									1			
3	岩国総合							11		1			
4	坂上				63	11		5	3				
5	広瀬			14	63			17	20			21	
6	高森							2					
7	岩国商業				3				62,15				
8	岩国工業							2	6,8				
9	柳井商工							7	11				
10	柳井商工							11,14	14,11,14				
11	熊毛南		63					6,17	12				19(分)
12	田布施農業						15(分)	3,18	5				18(分)
13	田布施工業							20	16				
14	光		63					8	17	定20			
15	光丘							8,11	14				
16	下松		63			12	7	15					
17	華陵		63					8	1				
18	下松工業							1					
19	熊毛北							2,14	63,7				
20	徳山		4(定)			10(定)	8(定)	15	12				
21	徳山北		63					4,11	8			21	
22	鹿野		3			10		9	1,16				
23	新南陽		63					※	5,14				
24	徳山商工		5	63					3,4,7	1			
25	南陽工業		1					62					
26	防府												
27	防府西							10		1			
28	防府商業		63(定)					12	6	1			
29	佐波				63		7						
30	山口		62(定),16(定)				15(定)	2					
31	山口中央		63	12		10	13						
32	西京		62					4	7				
33	山口農業							5・21	3				
34	宇部		63										
35	宇部中央		1(定)				14(定)	10,19	63				
36	宇部西							14	10				
37	宇部商業				63			62,6	3				
38	宇部工業		13	2				8					
39	小野田		63(定)	19(定)					※				
40	厚狭			1				15・21	9,18				
41	小野田工業		63(定)						4				
42	美祢		62			9		4	2			18	
43	青嶺							63	10			※	
44	田部							1,13	18,20				
45	西市							63	※				

ピアノ……………弘中 孝
 マリンバ……………水野与旨久
 フルート……………西田直孝・トリオ
 胡弓……………姜建華・楊宝元
 トランペット……………田宮堅二
 尺八と琴……………中村明一、八木美知依
 オペレッタ……………木月京子、ひとりオペラ
 交響楽団……………山口県交響楽団

演劇……………劇団のんた、宇部芸術座、劇団海峽座
 金管合奏……………東京金管五重奏団
 打楽器……………東国の太鼓と踊り
 デュオコンサート……………三輪 郁、菅沼ゆづき
 ソプラノ……………鶴木絵里
 リコーダー・リュート……………吉沢実、永田平八
 電子オルガン……………神田 将
 みんな de リズム……………フランス・シルヴァ

山口県高等学校文化連盟自主事業実施校一覧 No.2

数字は実施年度（62～63は昭和、1～20は平成）、※は今年度実施予定、(定)は定時制、(分)は分校

番号	学校	事業	ピアノ	マリンバ	フルート デュオコンサート	朝打楽器 トランペット	尺八と琴 オベレック	交響楽団	演劇	金管合奏 de リズ	奏なム Vn	ア 電子オルガ & Vc	リコーダー リ ュー ト
46	豊浦												
47	長府									1			
48	下関西												
49	下関南											※	
50	響			5				1					
51	豊北	62						3	15・※				
52	下関中央工業							12	6				
53	下関工業	62							2				
54	大津	63						12	5				
55	日置農業	63	5			15	9	19	2,13				
56	水産							12					
57	萩	63						3	6				
58	萩商工	63						6,7,16	2,4,9,12,17				
59	徳佐				63(分)			63,10,20	13				
60	奈古		17(分)			11		1,9					
61	下関中等教育								5				
62	岩国総合支援		3,13			16			10,19				
63	田布施総合支援		6	17				62					
64	周南総合支援		15	17								20	
65	徳山総合支援		11	1									
66	防府総合支援	62	3	63	12			16					
67	山口南総合支援												
68	山口総合支援				19			14					
69	宇部総合支援		63,5,14					1,9	18				
70	下関南総合支援	63	3			16	8,10	7	1				
71	下関総合支援		2,6					16					
72	豊浦総合支援		11,16				13		19・21				
73	萩総合支援		6										
74	下関商業					14(定)							
75	高水								62				
76	柳井学園		6						63				
77	聖光							2					
78	山口県桜ヶ丘												
79	誠英								7,9				
80	高川学園												
81	中村女子	63						2,5・※	11,16				
82	野田学園	63						18					
83	山口県鴻城							10	12,15				
84	宇部鴻城							7	9				
85	慶進												
86	成進												
87	宇部フロンティア香川							1,5,15	11,19				
88	サビエル												
89	早鞆												
90	下関短期大学付属	62,63	4				7		8				
91	長門							6					
92	萩光塩学院												

《自主事業》【巡回演劇公演】

演劇公演会「ヘレン・ケラー」の感想

豊浦総合支援学校

○今日は、僕達の為にこの学校まで来て頂きましてありがとうございます。

僕も、高機能自閉症(アスペルガー症候群)で、随分と苦しんだ時がありました。けどヘレン・ケラーさんの方がもっと苦しかったんだと思いました。

今は精神的に落ち着いてはきましたが、ヘレンさんの方が、色々な苦難をサリバン先生と乗りこえたんだなあと深く思い感激しました。

最後になりましたが、海峡座の皆さんもお体に気を付けて素晴らしいご公演をして下さい。

○劇「ヘレン・ケラー」を見て、とても感動しました。ヘレンの障害を見て、とてもつらかっただろうなと強く思いました。

ぼくも障害をもっているので、多少の障害者の気持ちは分かりますが、ヘレンの気持ちは、分かるのに少し時間もかかりました。「ヘレン・ケラー」の本は、幼いころに読んだことがありますが、劇には、動きがあるので、とても分かりやすかったです。

「つらい事をのりこえないと、次には進めない」ということが心に強くつたりました。ぼくもがんばっていますが、ヘレンほどの強さは、さすがにありません。海峡座のみなさんの劇を心にきざみこんで、ヘレンのように強く生きようと思います。

豊浦総合支援学校

9月18日 実施

○今日は5時間目にかいきょう座の皆さんが来て下さり物語はヘレン・ケラーでした。

私は、このヘレン・ケラーが大好きで、今日は、劇で見れてとてもうれしかったです。

それに、ヘレン・ケラーの成長がすごいと思いました。

サリバン先生は、ヘレン・ケラーの笑顔に救われたと言っていて、やっぱり、自分達は、色んな人から救われてるんだなと思いました。私も、友達などからたくさん救われているので、そう思いました。それに、ヘレン・ケラーは、耳は聞こえない、口で話せない、目も見えないのに、一生懸命に色んなことを覚えていって、すごく感動しました。

最初はきょうぼうな女の子だったのに、サリバン先生のおかげで、とても優しい女の子に変わっていく時、サリバン先生の力はすごい物なんだなと思いました。

それに、語りの人も、すごく大きな声で話っていてすごいなと思いました。裏方の方々もすごく大変なのに、すごいなと思いました。次も、見てみたいなと思いました。



劇団海峡座・公演

《自主事業》「神田将 電子オルガンコンサート」

オルガンコンサートを聴いて 広瀬高校
3年 大黒 朱果里

電子オルガン奏者の神田ゆきさんの演奏を初めて生で見ました。

始め登場された時、にこやかで自信に満ち溢れた表情だったので、鑑賞するのがとても楽しかったです。

演奏が始まる前、電子オルガンだけの演奏で曲が寂しくならないか疑問でした。しかし、神田さんの演奏が始まった途端、疑問はすぐに解決しました。一つの楽器から様々な音を繰り出し、奏でる演奏に感動しました。

また、神田さんの話の中に、この仕事を最初から目指していたわけではないが、いつの間にかこうしてステージの上に立っていた、というのがありました。けれど、一つ一つのチャンスは無駄にはしなかったと言われました。私も、今できるチャンスを逃さずに生きていきたいと思えます。

このような、貴重な体験をさせていただいて、本当に良かったと思います。

3年 白石 里愛

私は初めてオルガンの音がきれいだな、と思いました。オルガンは電子音で、しかもパーカッションの音もかってに流れたりするので、演奏者の出す音というのがなかなか伝わってこない楽器だな、と思っていました。でも今回、神田さんの演奏を見聞きして、神田さんが作り出す

音というのを感じる事ができた気がします。

オルガンについて驚いたこともあります。オルガンは音色や音量を変えることができるというのは知っていましたが、タッチで音の大きさや雰囲気を変えられることを初めて知りました。いつか触れてみたいな、と思いました。

神田さんの演奏を聴いて音楽はまさしく音を楽しむものだと思います。これからもさまざまな音楽とふれあっていきたいです。

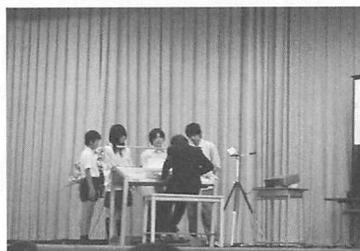
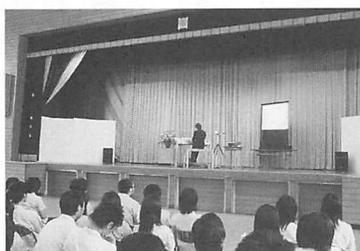
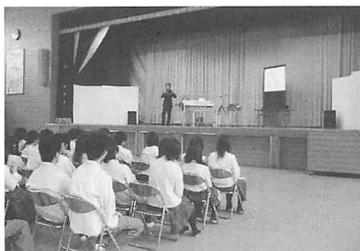
3年 舛本 和太

今日の神田将さんのコンサートを聞いて、今までの電子オルガンに対するイメージがすっかり変わりました。以前はもっと音が少なく感じられたのに対して、今日は音の層が厚くまるでオーケストラの演奏を聞いているかのようでした。

特に、協奏曲「四季」の冬はとても感動して思わず鳥肌が立ってしまうほどでした。また、「さくらさくら」や「彼こそが海賊」など知っている曲もあり、とても身近に感じながら聞くことが出来ました。

また、神田さんのお話の中で電子オルガンを劇場で演奏するまでに十年かかったと聞いたとき、とても驚きました。十年間もめげることなく努力し続けたことに勇気をいただきました。

今日の演奏とお話を聞いたことで、神田さんのような人間に一步でも近づけるように精進したいと思います。



広瀬高校
6月18日
実施

《自主事業》【山口県交響楽団演奏会】

「山口県交響楽団の演奏を聴いて」山口農業高校
食品工学科3年 田邊 雄貴

僕は今日の芸術鑑賞会に来て下さった山口県交響楽団の演奏を聴いてとても感激しました。メロディーやハーモニーが心を和ませてくれて、素晴らしいひとときが過ごせたと思います。特に印象に残った曲は、ビゼーが作曲した歌劇「カルメン」より第一幕への前奏曲です。この曲は聴いていると、どこかのパレードに行った気分させてくれるとても楽しい曲だと思いました。さすがオーケストラの演奏だなと実感しました。

また、指揮者コーナーでは実際にオーケストラの指揮をやってみて思ったのですが、何か大きな指揮をするということは大きな責任と強い精神力がともなうんだと自分の心の中にしかと刻み込まれました。この貴重な経験を土台に山農吹奏楽部の部長として今年の農業祭もよりよいもの出来るよう一致団結して頑張ろうと思います。

生活科学科1年 有井 真侑子

私は、吹奏楽部なので、今回の演奏会をととても楽しみにしていました。生でオーケストラを聞く機会はあまりないので、本当に楽しかったです。

演奏された曲は、どれも聞いたことがあるもので、テレビのCMなどで聞いた時は、ただいい曲だなと思っただけだったけど、オーケストラの演奏だと、たくさんの楽器の音が混ざりあって、迫力があるのにやわらかい音でとてもきれいでした。

私は、吹奏楽部でホルンを吹いているので、自分も、迫力があるけどやわらかくてきれいな音が出せるように日々、練習しています。今回、とても素晴らしい演奏を学校で聞くことができ、とても良い経験でした。今回聞いた音を自分も出せるように頑張ります。

今回は、とても素晴らしい演奏を聞かせていただき、ありがとうございました。



山口農業高校
10月23日 実施



補助事業「マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート」

コンサートを聞いて

慶進高校 2年 久嶋 悠暉

七月七日に特別学校コンサートがありました。プロの演奏家の方々が来て下さり、親しみのある楽曲を演奏して下さいました。バロックを代表するバッハや、ロマン派を代表するショパンなど様々な時代の作曲家たちの作品を聴くことができました。

演奏して下さいた楽器は、ピアノ、ヴァイオリンそしてトロンボーンで、演奏を聴くまではどのようなハーモニーになるか想像できませんでした。しかし演奏が始まると、それぞれの楽器の音色が美しく調和していて、その響きに引き込まれました。CDやレコードとは違い、生の音色は深く、演奏者の方々の音楽的情感が直に伝わってきました。

演奏だけでなく、楽器の紹介や演奏方法の説明などもしていただき音楽の奥深さを再認識でき、増々音楽が好きになりました。今でも体に音が響いた感覚が忘れられません。

慶進高校

7月7日 実施



平成22年度 山口県高等学校文化連盟 自主事業実施予定

事業名	実施校	人数	期日(曜日)	備考
山口県交響楽団演奏会	新南陽高校	500	10月27日(水)	
	中村女子高校	480	11月17日(水)	
巡回演劇	西市高校	171	5月14日(金)	劇団のんた
	小野田高校	476	10月28日(木)	宇部芸術座
	豊北高校	214	10月29日(金)	劇団海峡座
バイオリンとチェロのコンサート	下関南高校	200	5月25日(火)	
	青嶺高校	250	5月25日(火)	

カナデ on ブラス 金管五重奏 演奏会(補助事業)	田布施農工高校	395	6月8日(火)	
	下関工業高校	480	6月9日(水)	
	日置農業高校	174	6月10日(木)	
	山口中央高校	600	6月11日(金)	

平成21年度 山口県高等学校文化連盟 【事業報告】

月	日	事 業	会 場
4	14	会計監査	山口中央高校
	23	平成20年度「高文連会報」発行 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	8	高文連評議員会	山口市
	23～24	平成20年度集録「高文連」発行 県高校総合文化祭（将棋部門）	防府市文化福祉会館
	26	(社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会（地区代表者会議）	東京：ホテルフロラシオン青山
6	18	神田将電子オルガンコンサート	徳山北高校
	18	神田将電子オルガンコンサート	広瀬高校
	18	県高校総合文化祭総合開会式	萩市民館
	19～20	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	萩市民館
	20	県高校総合文化祭（日本音楽・吟詠剣詩舞部門）	防府市公会堂
7	3	第19回中国地区高文連関係者合同会議	山口市：翠山荘
	7	マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート（補助事業）	慶進高校
	8	マルグリット・フランス、小野隆洋、棟久木綿佳コンサート（補助事業）	光高校
	14	山口県交響楽団演奏会	厚狭高校
	28～2	(社)全国高等学校文化連盟各専門部会	三重県
	29～2	第32回全国高等学校総合文化祭	三重県
30	(社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	三重県：津市	
8	29～30	第20回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場
9	18	巡回演劇「劇団海峡座」	豊浦総合支援学校
	25～27	県高校総合文化祭展示3部門（美術・工芸・書道・写真）	シンフォニア岩国
10	5	巡回演劇「劇団のんた」	周防大島高校
	16	巡回演劇「宇部芸術座」※インフルエンザにより中止	宇部工業高校
	23	山口県交響楽団演奏会	山口農業高校
	24	県高校総合文化祭（文芸部門）	徳山商工高校
	24～25	県高等学校総合文化祭（演劇部門）	宇部市渡辺翁記念会館
	25	県高校総合文化祭（囲碁部門）	山口高校
11	7	県高校総合文化祭（放送部門）	ニューメディアプラザ山口
	15	第11回高校生文芸道場中国大会 第1回高文連理事長会	広島市：広島女学院大学 山口中央高校
	10	第21回全国高文連研究大会	別府市：ビーコンプラザ
12	11	全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議	別府市
	19	第10回高校生文芸道場総合大会	国立オリンピック記念青少年総合センター
	1	28～30	第18回全国高文連将棋新人大会
2	5	第2回高文連理事長会	山口中央高校
	23	第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校
3	19	平成21年度中国地区高文連実務担当者会議	山口中央高校
	26	第29回器楽・管弦楽スプリングコンサート	柳井市：サンビームやない
<p>【その他】県高校総合文化祭準備（実行）委員会 総合開会式・音楽4部門発表会（萩高校） 展示3部門（岩国高校） 日本音楽（防府高校） 演劇部門（サビエル高校） 囲碁部門（山口高校） 放送部門（岩国高校） 将棋部門（徳山高校） 文芸部門（徳山商工高校） ※以上、主管校を中心に開催</p> <p>各専門部会……………部会長校を中心に開催 各専門部研修会…県下各地において開催</p>			

平成21年度 山口県高等学校文化連盟会計【決算書】

(収入の部)

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	増減(減△)	摘 要
繰 越 金	2,298,889	2,298,889	0	
会 費	12,672,000	12,729,550	57,550	
(内訳)	12,502,000	12,560,450	58,450	全日制350円×35,887人 定時制・総合支援学校 50円×1,266人 学校負担金 100円×1058学級
	64,000	63,300	△ 700	
	106,000	105,800	△ 200	
補 助 金	4,122,000	2,853,000	△ 1,269,000	
(内訳)	811,000	811,000	0	県総文祭県補助金 全総文祭県補助金
	3,311,000	2,042,000	△ 1,269,000	
調整基金から繰入	700,000	700,000	0	
雑 収 入	26,111	24,856	△ 1,255	定期利息
合 計	19,819,000	18,606,295	△ 1,212,705	

(支出の部)

区 分	予 算 額	決 算 額	残額(超過△)	摘 要
運 営 費	1,110,200	1,012,911	97,289	
(内訳)				事務用品、写真、事務機器維持費 電話 郵便 運送料等 傷害保険料 全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金、 山口県文連会費
事務用品費	250,000	247,439	2,561	
通 信 費	330,000	236,872	93,128	
分 担 金	530,200	528,600	1,600	
会 議 費	1,540,000	1,402,344	137,656	全国会議94万 研究大会 6万 県内会議30万 会議用お茶 1万 参加費 1万
事 業 費	15,589,000	13,545,119	2,043,881	
(内訳)				総合開会式 各部門大会開催費 生徒旅費補助195万 引率旅費補助104万運送費26万 7公演154万 補助事業 2公演26万 特別支援学校文化祭 5万 将棋全国新人大会30万 研修費 各部門通信費・全国分担金 集録 会報 県総文ポスター 賞状 中高文連交流事業
県総文祭	6,627,000	6,059,069	567,931	
全総文祭	4,600,000	3,251,935	1,348,065	
自主事業	1,802,000	1,802,000	0	
大会補助金	350,000	350,000	0	
専門部会費	1,730,000	1,649,643	80,357	
印刷費	430,000	427,182	2,818	
中高連携費	50,000	5,290	44,710	
調 整 基 金	0	0	0	
予 備 費	1,579,800	3,309	1,576,491	
合 計	19,819,000	15,963,683	3,855,317	

(収入) 18,606,295円 - (支出) 15,963,683円 = (繰越) 2,642,612円

平成21年度 調整基金会計決算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計へ繰出し	今年度末残高
10,500,000	700,000	9,800,000

上記の通り相違ありません

平成22年 4月14日

監事

監事




平成22年度 山口県高等学校文化連盟 【事業計画】

月	日	事 業	会 場
4	14	会計監査	山口中央高校
	20	平成21年度「高文連会報」発行 第1回高文連企画運営委員会	山口中央高校
5	7	高文連評議員会 平成21年度集録「高文連」発行	山口市
	14	巡回演劇「劇団のんた」	西市高校
	22～23	県高校総合文化祭(将棋部門)	防府市文化福祉会館
	25	山口県青少年劇場「ヴァイオリンとチェロのコンサート」	午前：下関南高校 午後：青嶺高校
	25	(社)全国高等学校文化連盟第1回通常総会(地区代表者会議)	東京：ホテルフロラシオン青山
6	8～11	補助事業「カナデ on プラス 金管5重奏コンサート」	田布施農工、下関工、日置農、山口中央
	17	県高校総合文化祭総合開会式	シンフォニア岩国
	18～19	県高校総合文化祭音楽4部門発表会	シンフォニア岩国
	19	県高校総合文化祭(日本音楽・吟詠剣詩舞部門)	ラポールゆや
7	2	第21回中国地区高文連関係者合同会議	下関市：海峡メッセ下関
	31～5	(社)全国高等学校文化連盟各専門部会	宮崎県
8	1～5	第33回全国高等学校総合文化祭	宮崎県
	2	(社)全国高等学校文化連盟加盟団体代表者会議	宮崎県：宮崎市
	28～29	第21回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演	東京：国立劇場大劇場
9			
10	23	県高校総合文化祭(文芸部門)	徳山商工高校
	24	県高校総合文化祭(囲碁部門)	下関西高校
	27	山口県交響楽団演奏会	新南陽高校
	28	巡回演劇「宇部芸術座」	小野田高校
	29	巡回演劇「下関海峡座」	豊北高校
11	6～7	山口県中学校文化連盟総合開会式	萩市民館
	6	県高校総合文化祭(放送部門)	ニューメディアプラザ山口
	12～14	県高校総合文化祭展示3部門(美術・工芸、書道、写真)	周南市美術博物館
	13～14	県高等学校総合文化祭(演劇部門)	防府市公会堂
	17	山口県交響楽団演奏会 第12回高校生文芸道場中国大会 第1回高文連理事長会	中村女子高校 島根県 山口中央高校
12	9	第22回全国高文連研究大会	さいたま市
	10	全国高文連第2回通常総会 実務担当者会議	さいたま市
	18	第12回高校生文芸道場総合大会	国立オリンピック記念青少年総合センター
	18～19	第48回中国地区高等学校演劇発表会	島根県松江市：島根県民会館中ホール
	18～19	第9回中国地区高等学校将棋選手権大会	山口市：ホテルかめ福
1			
2		第2回高文連理事長会 第2回高文連企画運営委員会	山口中央高校 山口中央高校
3	18	平成22年度中国地区高文連実務担当者会議	山口中央高校
	25	第30回器楽・管弦楽スプリングコンサート	シンフォニア岩国
<p>【その他】県高校総合文化祭準備(実行)委員会 総合開会式・音楽4部門発表会(岩国・柳井高校) 展示3部門(光丘高校) 日本音楽、吟詠部門(大津高校) 演劇部門(防府西高校) 囲碁部門(下関西高校) 放送部門(岩国高校) 将棋部門(徳山高校) 文芸部門(徳山商工高校) ※以上、主管校を中心に開催予定</p> <p>各専門部会……………部会長校を中心に開催予定 各専門部研修会…県下各地において開催予定</p>			

平成22年度 山口県高等学校文化連盟会計【予算書】

(収入の部)

(単位：円)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減(減△)	摘 要
繰越金	2,642,612	2,298,889	343,723	
会費	12,692,000	12,672,000	20,000	
(内訳)	12,523,000	12,502,000	21,000	全日制350円×35,780人 定時制・総合支援学校 50円×1,280人 学校負担金 100円×1050学級
64,000		64,000	0	
105,000		106,000	△ 1,000	
補助金	2,811,000	4,122,000	△ 1,311,000	
(内訳)	811,000	811,000	0	県総文祭県補助金 全総文祭県補助金
2,000,000		3,311,000	△ 1,311,000	
調整基金から繰入	1,900,000	700,000	1,200,000	
雑収入	25,023	26,111	△ 1,088	定期利息
合 計	20,070,635	19,819,000	251,635	

(支出の部)

区 分	予 算 額	前年度予算額	増減(減△)	摘 要
運営費	1,105,400	1,110,200	△ 4,800	
(内訳)				事務用品、写真、事務機器維持費 電話 郵便 運送料等 傷害保険料2.5万 全国高文連会費、賛助会費、中国高文連分担金、 山口県文連会費
事務用品費	250,000	250,000	0	
通信費	330,000	330,000	0	
分担金	525,400	530,200	△ 4,800	
会議費	1,500,000	1,540,000	△ 40,000	全国会議92万 研究大会14万 県内会議41万 会議用お茶2万 参加費1万
事業費	16,569,340	15,589,000	980,340	
(内訳)				総合開会式 各部門大会開催費 生徒旅費補助213万 引率旅費補助186万 運送費75万 7公演154万 補助事業4公演32万 特別支援学校文化祭5万 中国地区将棋選手権大会10万 研修費135.05万 通信費・役員旅費60万 全国分担金8.6万 集録21万 会報8万 県総文ポスター5万 賞状4万 中高文連交流事業
県総文祭	7,372,840	6,627,000	745,840	
全総文祭	4,740,000	4,600,000	140,000	
自主事業	1,860,000	1,802,000	58,000	
大会補助金	150,000	350,000	△ 200,000	
専門部会費	2,036,500	1,730,000	306,500	
印刷費	380,000	430,000	△ 50,000	
中高連携費	30,000	50,000	△ 20,000	
調整基金	0	0	0	
予備費	895,895	1,579,800	△ 683,905	書道専門部額10万
合 計	20,070,635	19,819,000	251,635	

平成22年度 調整基金会計予算書

(単位：円)

前年度末現在高	一般会計へ繰出し	今年度末残高
9,800,000	1,900,000	7,900,000

山口県高等学校文化連盟規約

昭和62年4月1日制定
平成元年4月1日改正
平成2年4月1日改正
平成3年4月1日改正
平成4年4月1日改正
平成6年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成15年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成21年4月1日改正
平成22年4月1日改正

第 1 章 総 則

(名 称)

第1条 この連盟は、山口県高等学校文化連盟と称する。

(事務局)

第2条 本連盟の事務局を山口市宮島町6番1号山口中央高等学校に置く。

(目 的)

第3条 この連盟は、高等学校における生徒の創造活動の向上充実を図り、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資することを目的とする。

(事 業)

第4条 この連盟は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 山口県内の高等学校による文化行事の開催に関する事業。
- (2) 全国高等学校文化連盟が主催する行事への派遣に関する事業。
- (3) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会、講演会等の開催に関する事業。
- (4) 高等学校等の文化活動に関する調査研究事業。
- (5) 高等学校による文化活動の国際交流に関する事業。
- (6) その他前条の目的の達成に必要な事業。

(組 織)

第5条 この連盟は、山口県内の公立及び私立すべての高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下、「高等学校」という。）並びに高等部を設置している特別支援学校をもって組織する。

2 山口県内を七つの地域に分け、地域ごとに連合体を組織することができる。この場合において、地域の区分は、山口県高等学校校長会の区分と同じものとする。

第6条 この連盟に、次の専門部を置く。

2 演劇、器楽・管弦楽、合唱、吹奏楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、吟詠剣詩舞、美術・工芸、書道、写真、囲碁、将棋、放送、文芸の各部門とする。

第 2 章 役 員

(役 員)

第7条 この連盟に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1人
- (2) 副会長 若干人
- (3) 評議員 各加盟校ごとに1人
- (4) 支部長 7人
- (5) 専門部会長 14人
- (6) 専門部理事長 14人
- (7) 監 事 2人
- (8) 参 与 若干人

(役員を選出)

第8条 役員を選出は、次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、評議員の互選により選出する。
- (2) 評議員は、加盟校の校長をもって充てる。
- (3) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、各地域及び専門部の推薦に基づき、会長が委嘱する。
- (4) 監事及び参与は評議員会の推薦に基づき、会長が委嘱する。

2 役員兼任は妨げない。

(役員職務)

第9条 役員職務は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、この連盟を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を行う。
- (3) 評議員は、評議員会に出席し、この連盟の事業について審議する。
- (4) 支部長・専門部会長・専門部理事長は、企画運営委員会を構成し、この連盟の会務を審議し、執行する。
- (5) 監事は、会計を監査する。
- (6) 参与は会長の諮問に応ずる。

(役員任期)

第10条 役員は高等学校等に在職する者とし、その任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは、必要に応じて補充する。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

第 3 章 会 議

(会議)

第11条 この連盟の会議は、次に掲げるとおりとし、会長が必要に応じてこれを招集する。

- (1) 評議員会
- (2) 企画運営委員会
- (3) 理事長会

2 会議の議長は、会長がこれに当たる。

3 会議は、構成員の2分の1以上の出席がなければ、開会することができない。

4 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決定する。

5 会議に出席できない構成員は、代理人に表決を委任することができる。この場合において、前2項の規定の適用については、会議に出席したものとみなす。

(評議員会)

第12条 評議員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 規約の制定及び改廃に関する事項
- (2) 予算及び決算に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる重要事項

(企画運営委員会)

第13条 企画運営委員会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 評議員から委任された事項
- (2) 会務の運営及び執行に関する事項
- (3) その他、連盟の運営に係わる軽易な事項

2 企画運営委員会に事業の運営及び執行のために委員会を置くことができる。

3 委員会は、事業を主管する学校長を委員長とし、委員として当該事業担当の教職員若干人及び専門教職員をもってこれに充てる。

4 委員会の委員の任命及び委員会議の招集は、委員長が行うことができる。

(理事長会)

第14条 理事長会は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 企画運営委員会から委任された事項
- (2) その他各専門部の運営に係わる事項

第 4 章 会 計

(経 費)

第15条 この連盟の経費は、各高等学校等の加盟費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第16条 この連盟の収支予算は、評議員会の決議により定め、収支決算は、会計年度終了後、監事の監査を経て次の評議員会でその承認を得なければならない。

(会計年度)

第17条 この連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計経理)

第18条 この連盟の会計経理の手続きについては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 5 章 事 務 局

(事務局)

第19条 この連盟の事務を処理するため、事務局を置く。

(運 営)

第20条 事務局の運営に関しては、企画運営委員会の議決を経て、別に定める。

第 6 章 雑 則

第21条 この連盟の規約の施行について必要な事項は、評議員会の議決を経て、別に定める。

附 則

この規約は、昭和62年4月1日から施行する。

山口県高等学校文化連盟諸規程

[会計規程]

昭和62年4月1日制定
平成4年4月1日改正
平成5年4月1日改正
平成8年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成22年4月1日改正

第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、会計経理に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条 すべての収入、支出は予算に計上しなければならない。

第3条 会長は、収支予算書及び事業計画書の案を作成し、これを評議員会に提出しなければならない。

第4条 会計経理は、収入科目、支出科目及び整理科目を設けて経理の整理をし、現金及び預金出納簿を備え、全ての経理内容を記入するものとする。

第5条 会長は、決算報告書について、監事の監査を受けた後、これを評議員会に提出しなければならない。

第6条 各高等学校は、毎年5月31日までに、加盟費を納入するものとする。

加盟費内訳

各高等学校生徒一人当たり1年に	(全日制生徒)……………	350円
	(定時制、特別支援学校高等部生徒)……………	50円
各学校負担金(定時制、特別支援学校は除く)……………	学級数×100円	

第7条 この規程の執行に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[事務局規程]

昭和62年4月1日制定

昭和62年7月14日改正

- 第1条 この規程は、山口県高等学校文化連盟規約に基づき、事務局の運営に関し必要事項を定めるものとする。
- 第2条 事務局に次の職員を置く。
- (1) 事務局長
- (2) 事務局員 ア 総務係 イ 庶務係 ウ 会計係
- 第3条 事務局長は、会長の命を受け、事務局の事務を統括する。
- 第4条 事務局員総務係は、事務局長の命を受け、総務・企画・文書・調査研究に関する事項を分掌する。
- 第5条 事務局員庶務係は、事務局長の命を受け、庶務に関する事項を分掌する。
- 第6条 事務局員会計係は、事務局長の命を受け、会計に関する事項を分掌する。
- 第7条 事務局の会計に関する規程その他事務処理上必要な諸規程は、別に定める。
- 第8条 その他事務局の細目的事項は、会長が別に定める。
- 第9条 会長が命令する出張等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

山口県高等学校文化連盟表彰規程

昭和62年4月1日制定

昭和62年7月14日改正

平成元年4月1日改正

平成2年4月1日改正

平成6年4月1日改正

平成8年4月1日改正

平成15年4月1日改正

平成18年4月1日改正

- 第1条 山口県高等学校文化連盟規約第4条6号に基づく表彰規程を次のように定める。
(表彰の種類)
- 第2条 本規程に基づく表彰は、次のとおりとする。
- (1) 文化功労賞
- (2) その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの
- (文化功労賞)
- 第3条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、当該年度の卒業予定者を対象として授与する。
- 第4条 受賞人員は在籍生徒数200名に対し1名の割合を原則とする。
- 第5条 本賞の受賞者の選考は、当該学校に一任する。
- 第6条 本賞の受賞者の選考基準は、次のとおりとする。
- (1) 人格、識見共に優秀と認める者
- (2) 芸術文化活動歴が優秀である者、ただし、その活動は学校の内外を問わない。
- 第7条 各学校は、受賞者を決定し、別記様式(1)により、本連盟事務局あて報告するものとする。
- 第8条 本賞の授与は、卒業式に関する行事に際し、施行することを原則とする。
(その他、会長及び企画運営委員会が必要と認めたもの)

(優秀芸術文化賞)

第9条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の生徒であって、14部門において、全国大会等で特に優秀な成績をおさめたと認められた個人並びに団体を対象とする。

(功績賞)

第10条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、長年にわたり本連盟の発展に寄与した者を対象とする。

(優秀指導者賞)

第11条 本賞は、山口県高等学校文化連盟加盟校の教職員であって、14部門において、全国大会等で優秀賞を授与され、且つ、長年にわたり部の指導に当たってきた者を対象とする。

第12条 第9条、第10条、第11条の授賞については、高文連企画運営委員会に諮り、これを決定する。本賞の授与は県総文祭の総合開会式で行うことを原則とする。

附 則

この規程は、昭和62年4月1日から実施する。

[旅費支給基準]

昭和62年4月1日制定
昭和63年4月1日改正
平成元年4月1日改正
平成11年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成22年4月1日改正

第1条 会長が招集する会議等の旅費は、山口県旅費規程に準じて支給する。

第2条 県総文祭の運営に関する旅費は、委託された主管校から山口県旅費規程に準じて支給する。

第3条 全国高等学校総合文化祭に関する旅費は、引率教員は山口県旅費規程に準じて支給する。

生徒は、[交通費実費(学割・団体割引) + 宿泊費(大会規定料金) × 2泊] × 1/3とする。

※ 新幹線のみで100Km以上の場合には特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)

※ 在来線で100Km以上の場合には急行または特急指定料金を含む。(ただし県内は除く)

[調整基金細則]

第1条 規約第4条の事業を円滑に遂行し、財務の健全化を図るため調整基金を設ける。

第2条 調整基金の額は、年度予算に計上して積み立てるものとする。

第3条 調整基金に属する現金は、金融機関への預金等最も確実な方法により保管するものとする。

第4条 調整基金は、事業執行上の財源が著しく不足する場合において、当該不足分を補うための財源に充てるときに限り、評議員会の議決によりこれを処分することができる。

附 則

1 この細則は、平成20年4月1日から施行する。

2 この細則の施行前の調整基金については、この細則による執行とみなす。

平成21年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部・専 門 部	所 属 校
会 長	八 幡 フ ミ エ		山 口 中 央 高 校
副 会 長	上 田 一 人 木 村 峰 康 内 田 晃 晃		岩 国 高 校 下 関 西 高 校 柳 井 学 園 高 校
参 与	田 邊 恒 美		山 口 高 校
支 部 長	上 田 一 人 竹 本 芳 朗 橋 田 章 章 八 幡 フ ミ エ 時 光 善 朗 木 村 峰 康 吉 村 高 男	岩 国 支 部 柳 井 支 部 德 山 支 部 山 防 支 部 宇 部 支 部 下 関 支 部 長 北 支 部	岩 国 高 校 柳 井 高 校 德 山 高 校 山 口 中 央 高 校 宇 部 高 校 下 関 西 高 校 萩 高 校
専 門 部 会 長	木 村 静 男 中 嶋 幸 子 牛 見 正 彦 菊 地 昇 昇 佐 藤 知 紀 中 嶋 幸 子 (休 部) 木 村 静 男 鞠 川 浩 二 唐 松 良 生 田 邊 恒 美 上 田 一 人 橋 田 章 章 伊 藤 健 司	演 劇 部 門 器 楽・管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチンクバンド・バトントリング部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術・工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	下 関 商 業 高 校 下 関 南 高 校 野 田 学 園 高 校 小 野 田 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 (休 部) 下 関 商 業 高 校 長 府 高 校 光 高 校 山 口 高 校 岩 国 高 校 德 山 高 校 德 山 商 工 高 校
専 門 部 理 事 長	金 森 健 一 飯 田 幸 生 田 中 睦 陸 志 道 博 資 縄 田 道 孝 好 川 眞 知 子 (休 部) 宮 崎 龍 次 栢 山 美 智 子 眞 崎 久 之 富 山 貴 之 小 倉 誠 司 弘 中 敏 之 國 嶋 洋 治	演 劇 部 門 器 楽・管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチンクバンド・バトントリング部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術・工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	下 関 商 業 高 校 下 関 南 高 校 野 田 学 園 高 校 小 野 田 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 (休 部) 下 関 商 業 高 校 長 府 高 校 光 高 校 山 口 高 校 岩 国 高 校 德 山 高 校 德 山 商 工 高 校
監 事	三 吉 英 太 豊 岡 芳 和		防 府 商 業 高 校 西 京 高 校
事 務 局 長	西 村 正 浩		山 口 中 央 高 校
総 務	大 田 和 子		山 口 中 央 高 校
庶 務	新 竹 伸 芳		山 口 中 央 高 校
会 計	柴 崎 正 比 古 境 谷 公 美		山 口 中 央 高 校

平成22年度 山口県高等学校文化連盟役員一覧

職 名	氏 名	支 部・専 門 部	所 属 校
会 長	松 井 誠		山 口 中 央 高 校
副 会 長	中 村 芳 喜 木 村 峰 康 伊 藤 清 之		岩 国 高 校 下 関 西 高 校 下 関 短 期 大 学 付 属 高 校
参 与	川 野 あ き ら		山 口 高 校
支 部 長	中 村 芳 喜 藤 澤 正 信 竹 本 芳 朗 長 谷 川 信 明 時 光 善 朗 木 村 峰 康 吉 村 高 男	岩 国 支 部 柳 井 支 部 德 山 支 部 防 府 支 部 宇 部 支 部 下 関 支 部 長 北 支 部	岩 国 高 校 柳 井 高 校 德 山 高 校 防 府 高 校 宇 部 高 校 下 関 西 高 校 萩 高 校
専 門 部 会 長	木 村 静 男 中 嶋 幸 子 牛 見 正 彦 時 光 善 朗 佐 藤 知 紀 中 嶋 幸 子 (休 部) 木 村 静 男 鞠 川 浩 二 福 永 晃 康 木 村 峰 康 中 村 芳 喜 長 谷 川 信 明 村 中 一 雄	演 劇 部 門 器 楽・管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチンクバンド・ハットワリング部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術・工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	下 関 商 業 高 校 下 関 南 高 校 野 田 学 園 高 校 宇 部 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 (休 部) 下 関 商 業 高 校 長 府 高 校 新 南 陽 高 校 下 関 西 高 校 岩 国 高 校 防 府 高 校 德 山 商 工 高 校
専 門 部 理 事 長	金 森 健 一 飯 田 幸 生 田 中 睦 陸 志 道 博 資 縄 田 道 孝 好 川 眞 知 子 (休 部) 宮 崎 龍 次 相 山 美 智 子 尾 崎 勝 利 高 野 朝 男 小 倉 誠 司 岡 國 嶋 洋 治	演 劇 部 門 器 楽・管 弦 楽 部 門 合 唱 部 門 吹 奏 楽 部 門 マーチンクバンド・ハットワリング部門 日 本 音 楽 部 門 吟 詠 剣 詩 舞 部 門 美 術・工 芸 部 門 書 道 部 門 写 真 部 門 囲 碁 部 門 放 送 部 門 将 棋 部 門 文 芸 部 門	下 関 商 業 高 校 下 関 南 高 校 野 田 学 園 高 校 宇 部 高 校 山 口 県 鴻 城 高 校 下 関 南 高 校 (休 部) 下 関 商 業 高 校 長 府 高 校 新 南 陽 高 校 下 関 西 高 校 岩 国 高 校 防 府 高 校 德 山 商 工 高 校
監 事	三 吉 英 太 豊 岡 芳 和		防 府 商 業 高 校 西 京 高 校
事 務 局 長	西 村 正 浩		山 口 中 央 高 校
総 務	大 田 和 子		山 口 中 央 高 校
庶 務	細 川 邦 隆		山 口 中 央 高 校
会 計	新 竹 伸 芳 境 谷 公 美		山 口 中 央 高 校

全国高文連の歌

全国高等学校文化連盟制定

向川 栄美 作詞

乗松 美紀 作曲



1. てをのばせば ほら きっとだれかがささえてくれる
 2. よびかければ ほら きっとだれかがこたえてくれる



み—わたせ —ば ほら なかまがいつでもそばにいる きみ
 こころをひらけば ほら なかまがいつでもまっている きみ



は ひとりじゃない さあ ある きだ そ う
 は ひとりじゃない さあ は ばた こ う



ほくらのぶんか を つく る ため — に
 ほくらのぶんか を きず く ため — に

全国高文連の歌

一、手を伸ばせば ほら

きっと誰かが支えてくれる

見渡せば ほら

仲間がいつでもそばにいる

君は一人じゃない

さあ 歩きだそう

僕等の文化を創るために

二、呼びかければ ほら

きっと誰かが応えてくれる

心を開けば ほら

仲間がいつでも待っている

君は一人じゃない

さあ ^{はばた}翔こう

僕等の文化を築くために

山口県高等学校文化連盟
「高文連」編集委員

(各 部 門)

合 唱	田 中 睦	(野田学園高等学校)
マーチングバンド バトントワリング	縄 田 道 孝	(山口県鴻城高等学校)
器 楽・管 弦 楽	飯 田 幸 生	(県立下関南高等学校)
吹 奏 楽	志 道 博 資	(県立小野田高等学校)
演 劇	金 森 健 一	(下関商業高等学校)
日 本 音 楽	好 川 眞知子	(県立下関南高等学校)
美 術 工 芸	宮 崎 龍 次	(下関商業高等学校)
書 道	梶 山 美智子	(県立長府高等学校)
写 真	眞 崎 久	(県立光高等学校)
囲 碁	富 山 貴 之	(県立山口高等学校)
将 棋	弘 中 敏 之	(県立徳山高等学校)
放 送	小 倉 誠 司	(県立岩国高等学校)
文 芸	國 嶋 洋 治	(県立徳山商工高等学校)

事 務 局 長	西 村 正 浩	(県立山口中央高等学校)
総 務	大 田 和 子	(〃)
庶 務	新 竹 伸 芳	(〃)
〃	柴 崎 正比古	(〃)
会 計	境 谷 公 美	(〃)



平成21年度
山口県高等学校文化連盟集録
「高 文 連」

編集・発行 山口県高等学校文化連盟事務局
〒753-0043 山口市宮島町6-1
山口県立山口中央高等学校内
電 話 083-922-0032
FAX 083-932-0813

表紙デザイン／ 藤 川 愛 子
(山口中央高校3年)

